明細書

細胞外基質沈着タンパク質

5 技術分野

本発明は、内皮細胞遺伝子座-1(Del-1)タンパク質の部分断片である細胞外基質沈着タンパク質に関する。また、本発明は、上記部分断片を用いた細胞外基質沈着部位の同定方法、及び、Del-1 タンパク質と融合した目的分子(例えば、アルカリホスファターゼ)回収方法に関する。

10

15

20

25

背景技術

Del-1(developmentally endothelial locus-1)タンパク質(単に「Del-1」、「全長 Del-1」ともいう)は、EGF (上皮増殖因子、epithelial growth factor)類似のドメイン及びジスコイジン I 類似ドメインを有するタンパク質である。このタンパク質は細胞外基質タンパク質であり、血管内皮細胞表面の $\alpha v \beta$ 3 インテグリン受容体あるいは $\alpha v \beta$ 5 インテグリン受容体と呼ばれるタンパク質と EGF 類似ドメインを介して結合し、内皮細胞の細胞外基質への接着を促進することが知られている (Hidai, C. et al., GENES & DEVELOPMENT 12: 21-33, 1998)。

近年、全長 Del-1 をコードする遺伝子がクローニングされた。全長 Del-1 はその一部あるいは全部を介して細胞外基質中のプロテオグリカンと結合することができると推察されている。そこで、全長 Del-1 を発現させて所定の分子(タンパク質、プロテオグリカン等)を全長 Del-1 に結合させ、全長 Del-1 に結合した分子(タンパク質、プロテオグリカン等)を回収する方法が知られている(例えば特表平11-507527 号公報を参照)。

従って、これらの結合部位を特定し結合様式を解析することは、目的分子の回収、 及び全長 Del-1 に結合する分子の研究解析のために重要である。

しかしながら、全長 Del-1 の細胞外基質沈着能はそれほど高くないため、当該全 長 Del-1 に結合した目的分子を十分に回収することができなかった。

発明の開示

20

25

本発明は、細胞外基質に効率良く接着することができる領域を含む Del-1 の部分 断片を提供することを目的とする。

5 本発明者は、上記課題を解決するため鋭意研究を行った結果、ジスコイジン I 類似ドメイン付近の領域が効率的に細胞外基質に沈着することを見出し、本発明を完成するに至った。

すなわち、本発明は以下の通りである。

- 10 (1)以下の (a)又は(b)のタンパク質。
 - (a) 配列番号18若しくは24に示されるアミノ酸配列を含むタンパク質
 - (b) 配列番号18若しくは24に示されるアミノ酸配列において1若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列を含み、かつ、細胞外基質への沈着活性を有するタンパク質
- 15 (2)以下の (a)又は(b)のタンパク質。
 - (a) 配列番号 6 、8 、1 0 、1 2 、1 8 若しくは 2 4 に示されるアミノ酸配列からなるタンパク質
 - (b) 配列番号6、8、10、1218若しくは24に示されるアミノ酸配列において1若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列からなり、かつ、細胞外基質への沈着活性を有するタンパク質
 - (3) 以下の (a)又は(b)のタンパク質。
 - (a) 配列番号14に示されるアミノ酸配列を含むタンパク質
 - (b) 配列番号14に示されるアミノ酸配列において1若しくは数個のアミノ酸が 欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列を含み、かつ、細胞外基質への沈 着を抑制する活性を有するタンパク質
 - (4)以下の (a)又は(b)のタンパク質をコードする遺伝子。
 - (a) 配列番号18若しくは24に示されるアミノ酸配列を含むタンパク質
 - (b) 配列番号18若しくは24に示されるアミノ酸配列において1若しくは数個

のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列を含み、かつ、細胞 外基質への沈着活性を有するタンパク質

- (5)以下の (a)又は(b)のタンパク質をコードする遺伝子。
- (a)配列番号6、8、10、12、18若しくは24に示されるアミノ酸配列から なるタンパク質
 - (b) 配列番号6、8、10、12、18若しくは24に示されるアミノ酸配列に おいて1若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配 列からなり、かつ、細胞外基質への沈着活性を有するタンパク質
 - (6)以下の (a)又は(b)のタンパク質をコードする遺伝子。
- 10 (a) 配列番号14に示されるアミノ酸配列を含むタンパク質
 - (b) 配列番号14に示されるアミノ酸配列において1若しくは数個のアミノ酸が 欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列を含み、かつ、細胞外基質への沈 着を抑制する活性を有するタンパク質
 - (7)以下の(a)又は(b)の DNA を含む遺伝子。

5

25

- 15 (a) 配列番号17若しくは23に示される塩基配列を含む DNA
 - (b) 配列番号17若しくは23に示される塩基配列からなる DNA に対し相補的 な塩基配列を含む DNA とストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ、細胞外基質への沈着活性を有するタンパク質をコードする DNA
 - (8) 以下の(a)又は(b)の DNA を含む遺伝子。
- 20 (a) 配列番号 5 、7 、9 、1 1 、1 7 若しくは 2 3 に示される塩基配列からなる DNA
 - (b) 配列番号 5、7、9、11、17若しくは23に示される塩基配列からなる DNA に対し相補的な塩基配列からなる DNA とストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ、細胞外基質への沈着活性を有するタンパク質をコードする DNA
 - (9)以下の(a)又は(b)の DNA を含む遺伝子。
 - (a) 配列番号13に示される塩基配列を含む DNA
 - (b) 配列番号13に示される塩基配列からなる DNA に対し相補的な塩基配列を

含む DNA とストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ、細胞外基質への沈着を抑制する活性を有するタンパク質をコードする DNA

- (10)(4)~(9)のいずれか1項に記載の遺伝子を含む組換えベクター。
- (11)(10)記載の組換えベクターを含む形質転換体。
- 5 (12)(11)記載の形質転換体を培養し、得られる培養物から Del-1 タンパク質 の部分断片を採取することを特徴とする Del-1 部分断片の製造方法。
 - (13)(1)~(3)のいずれか1項に記載のタンパク質と細胞外基質とを反応させることにより、前記タンパク質が前記細胞外基質に沈着する部位を同定する方法。
- 10 (14)(1)~(3)のいずれか1項に記載のタンパク質を含む、細胞外基質沈着 部位同定用試薬。
 - (15)(1)~(3)のいずれか1項に記載のタンパク質と発現の目的分子とが連結した融合タンパク質。
 - (16)(15)記載の融合タンパク質を含有する薬物送達システム。
- 15 (17)(4)~(9)のいずれか1項に記載の遺伝子と、発現の目的分子をコード する遺伝子とが連結された、融合タンパク質をコードする遺伝子。
 - (18)(17)記載の遺伝子を含む組換えベクター。
 - (19)(18)記載の組換えベクターを含む形質転換体。
- (20)(19)記載の形質転換体を培養し、得られる培養物から Del-1 タンパク質 の部分断片と発現の目的分子との融合タンパク質を採取することを特徴とする 該融合タンパク質の製造方法。
 - (21)(15)記載の融合タンパク質を細胞外基質に沈着させ、目的分子を採取することを特徴とする目的分子の回収方法。
 - (22)目的分子を沈着させる方法であって、以下の工程:
- 25 (a) (19) 記載の形質転換体を培養することによって、発現の目的分子と Del-1 タンパク質の部分断片との融合タンパク質を生産させる工程、及び
 - (b) 前記融合タンパク質を細胞外基質に沈着させる工程 を含む前記方法。

- (23) 目的分子を回収する方法であって、以下の工程:
- (a) (19) 記載の形質転換体を培養することによって、発現の目的分子と Del-1 タンパク質の部分断片との融合タンパク質を生産させる工程、
- (b) 前記融合タンパク質を細胞外基質に沈着させる工程、及び
- 5 (c) 前記融合タンパク質から目的タンパク質を切断することによって、前記目的 分子を採取する工程

を含む前記方法。

10

20

25

- (24)配列番号2に示されるアミノ酸配列のうち、活性中心領域と陽性調節領域とを含む断片、及び/又は活性中心領域と陰性調節領域とを含む断片を細胞外基質と反応させることを特徴とする、細胞外基質への沈着活性を調節する方法。
- (25)活性中心領域のアミノ酸配列が配列番号4に示されるものである(24)記載の方法。
- (26)陽性調節領域のアミノ酸配列が配列番号20に示されるものである(24)記載の方法。
- 15 (27) 陰性調節領域のアミノ酸配列が配列番号22に示されるものである(24) 記載の方法。

本発明により、Del-1部分断片が提供される。Del-1部分断片の発現タンパク質は細胞外基質への沈着活性を有することから、Del-1部分断片を用いることによって、Del-1部分断片の発現タンパク質と結合した目的分子を細胞外基質に効率的に沈着させることができる。また当該沈着によって、目的分子を回収または除去することができる。

Del-1 部分断片を用いて目的分子を細胞外基質上に沈着させることによって、当該目的分子を標的組織で濃縮、限局することができる。特に、当該目的分子を血漿への流出を防ぐことによって、他の組織への移行を防止できる。

また、本発明の Del-1 部分断片の中には、細胞外基質への沈着を抑制する機能を有する蛋白を発現する断片も含まれている。従って、沈着活性を有する断片と細胞外基質への沈着を抑制する断片とを組み合わせて沈着活性を増減することによって、

目的分子の回収、除去、濃縮等を制御することができる。

図面の簡単な説明

図1は、本発明の Del-1部分断片の塩基配列の概略と、各部分断片のアルカリホ 5 スファターゼ活性による沈着活性測定結果を示す図である。

図2は、本発明の Del-1 部分断片の細胞外基質への結合活性を示す図である。

図3は、各肝臓から採取した血漿中の AP/Lac 比を示す図である。

図4は、各肝臓から採取した肝組織中のAP/Lac 比を示す図である。

図5は、各肝臓から採取した肝組織のアルカリホスファターゼ染色結果を示す図 10 である。

図6は、ウェスタンブロットを示す図である。

図7は、アルカリホスファターゼの回収結果を示す図である。

発明を実施するための最良の形態

- 15 本発明は、細胞外基質に特異的に結合する領域を含む全長 Del-1 タンパク質の部分断片、すなわち Del-1 沈着蛋白及び Del-1 沈着抑制蛋白(単に、「Del-1 部分断片」ともいう)に関するものである。本発明の Del-1 部分断片は、全長 Del-1 を種々の長さに切断することにより作製されたものであり、細胞外基質への沈着活性を有することを特徴とする。
- 20 本発明の Del-1 部分断片は、全長 Del-1 遺伝子(配列番号1)の配列のうち、少なくとも 1270~1662 番の塩基配列の領域によりコードされるアミノ酸(配列番号2に示すアミノ酸配列の218~348 番のアミノ酸配列)を含むものである。この領域の塩基配列を配列番号3に、これによりコードされるアミノ酸配列を配列番号4に示す。また、上記領域を含む本発明の Del-1 部分断片は、配列番号5、7、9、
- 25 11、13、15又は17に示す塩基配列を有するものであり、これらの塩基配列 によりコードされるアミノ酸配列を、それぞれ配列番号6、8、10、12、14, 16又は18に示す。

上記 Del-1 部分断片は、それをコードするアミノ酸配列から、プロテオグリカン

と結合することができると推察されている。

10

15

20

25

全長 Del-1 タンパク質または Del-1 部分断片の検出には、アルカリホスファターゼを用いた検出法が採用されている。すなわち、遺伝子組み換えにより全長 Del-1 タンパク質の N 末端にアルカリホスファターゼを融合したタンパク質を細胞に発現させることによって、培養上清にも細胞外基質と同様にアルカリホスファターゼ活性を確認することができる。

また、本発明においては、上記アルカリホスファターゼを用いた検出法のほか、 Del-1 部分断片等の検出にウェスタンブロット法を用いることもできる。具体的に は、アルカリホスファターゼと全長 Del-1 または Del-1 部分断片とを融合したタンパク質をコードする塩基配列を cos7 細胞に導入し、一定時間培養後に培養液と細胞 外基質を採取してウェスタンブロットを行うことによって検出できる。 コントロールとしては例えばラミニンとアルブミンを用いることができる。 なお、ウェスタンブロット法において、培養上清中の Del-1 タンパク質または Del-1 部分断片の検出 の感度を向上させるために、使用する培養液を増量し、タンパク質を濃縮してもよい。

上記検出法はどちらを採用することもできるが、アルカリホスファターゼを用い た検出法が好ましい。

本発明においては、既知の全長 Del-1 を種々の方法によって切断することによって得られた本発明の Del-1 部分断片を作製し、当該 Del-1 部分断片をアルカリホスファターゼを用いた前記検出方法およびウェスタンプロット法による細胞外基質沈着能を調べた。また、Del-1 部分断片の細胞外基質への沈着部位の同定、及び生体内特定部位への Del-1 部分断片の固定を行なった。さらに、Del-1 部分断片を用いた目的遺伝子の発現産物の回収を行った。

以下、本発明の実施の形態について具体的に説明する。

1. Del-1 部分断片をコードする DNA

Del·1 部分断片は、全長 Del·1 をコードする DNA を種々の長さに切断し、これを発現させることにより得ることができる。

全長 Del-1 遺伝子のクローニングは、公知手法に従って行うことができる (Hidai C. et al., GENES & DEVELOPMENT, 12:21-33, 1998)。 すなわち、ゲノムライブラリーからエクソントラッピングによりエクソンを得、これを用いて cDNA をクローニングすることができる。

5 例えば、ゲノムクローンの断片をスプライシングベクターに挿入し、mRNA の転写の際にスプライシングを起こさせる。次に、スプライスした mRNA を逆転写及び増幅し、エクソンのシークエンスを行う。

得られたエクソンは、cDNA ライブラリーから目的 DNA を釣り上げるためのプローブとして用いるか、あるいは 5'-RACE、3'-RACE のための遺伝子特異的プライマーの設計に用いられる。なお、RACE 法を行うには、市販のキット(例えば、MarathonTM cDNA Amplification Kit、Clontech 社)を用いることができる。

10

20

cDNA の塩基配列の決定は、公知の任意の手法により行うことができるが、通常は自動塩基配列決定装置を用いて配列決定が行われる。

このようにして得られた全長 cDNA の塩基配列を配列番号1に示す。また、配列 15 番号1に示す塩基配列によりコードされるアミノ酸配列を配列番号2に示す。

本発明の切断型 Del-1 部分断片の1つは、配列番号2に示すアミノ酸配列のうち 1~348 番目のアミノ酸配列を含むものである。上記部分断片は、配列番号1に示す塩基配列を有する DNA を Exonuclease III と Mung bean nuclease を用いて 3'末端から順次削除することにより得ることができる。削除される 3'末端の DNA は Exonuclease III の反応時間により決定される。この方法は市販の酵素(例えば Exonuclease III: タカラバイオ社製)を用いることができる。

全長 Del-1 (Del-1 major)、本発明の切断型 Del-1 部分断片および当該部分断片の沈着活性に影響を与えるアミノ酸配列の模式図を図1の左側上部に示す。

図1において、CY は配列番号 2 に示すアミノ酸配列のうち 218~348 番 (配列番 25 号4)、4-1 は1~348 番 (配列番号 6)、4-14 は1~368 番 (配列番号 10)、4-13 は1~385 番 (配列番号 12)、CB は 218~480 番 (配列番号 14)、XY は 123~348 番 (配列番号 18) の領域のアミノ酸配列を有する。

これらの Del-1 部分断片をコードする DNA(「本発明の DNA」という)は、CY

については、配列番号 1 に示す塩基配列の 1270~1662 番(393bp, 配列番号 3)、4·1 については 619~1662 番(1044bp, 配列番号 5)、4·14 については 619~1722 番(1104bp, 配列番号 9)、4·13 については 619~1773 番(1155bp, 配列番号 11)、CB については 1270~2058(789bp, 配列番号 13)、XY については、985~1662(678bp, 配列番号 17)の領域の塩基配列を有する。

5

また、ヒトの全長 Del·1 においても、マウス断片 XY(配列番号 18)に対応する human XY(配列番号 24)の沈着活性を測定した。human XY をコードする DNA は、配列番号 23 の塩基配列を有する。

図1には示されていないが、本発明の切断型上記 Del-1 部分断片として、4-15 は 10 配列番号 2 に示すアミノ酸配列のうち 1 ~365 番(配列番号 8)、DE は 218~319 番(配列番号 16)の領域のアミノ酸配列を有する。これらのアミノ酸配列をコードする DNA は、4-15 については、配列番号 1 に示す塩基配列の 619~1713番(1095bp, 配列番号 7)、DE については 1270~1575(306bp, 配列番号 15)の領域のアミノ酸配列を有する。

15 また、図1において、本発明の Del-1 部分断片の沈着活性を向上又は低減させる アミノ酸配列として、XC は 123~217 番(配列番号 2 0)、YB は 349~480(配列 番号 2 2)の領域のアミノ酸配列を有する。また、これらのアミノ酸配列をコード する DNA は、XC については 985~1269(285bp,配列番号 1 9)、YB について は 1663~2058(396bp,配列番号 2 1)の領域の塩基配列を有する。

20 さらに、本発明の部分断片は、上記配列番号 2 に示すアミノ酸配列の少なくとも 218~348 番のアミノ酸配列(配列番号 4)に示す CY を含むものである。また、本 発明の部分断片は、上記配列番号 2 に示すアミノ酸配列の少なくとも 218~348 番 のアミノ酸配列(配列番号 4)を複数連結したタンパク質を含むものである。これ らの領域は、細胞外基質への沈着活性を有する中心領域である。上記 CY は、配列 25 番号 1 に示す塩基配列の 1270~1662 番の領域(配列番号 3)によりコードされる。

また、配列番号20に示すアミノ酸配列(XC)は細胞外基質への沈着活性を向上させるものであり、当該沈着活性の陽性調節領域である。他方、配列番号22に示すアミノ酸配列(YB)は細胞外基質への沈着活性を低減させるものであり、当該沈

着活性の陰性調節領域である。「陽性調節領域」とは、その領域だけでは沈着活性を生じないが、中心領域 CY が含まれることにより沈着活性を引き起こすことができる領域を意味する。「陰性調節領域」とは、その全部又は一部の存在により、中心領域 CY や陽性調節領域 XC の存在にかかわらず、沈着活性が低下して、可溶性分画が増加する断片の領域を意味する。

本発明の Del-1 部分断片 (マウス及びヒト由来) の領域をまとめると表1の通りである。

表 1

名称	領域*		種類	配列番号
全長 Del·1			DNA	1
全長 Del·1	619-2061		タンパク質	2
CY	1270-1662	中心領域	DNA	3
CY	218-348	中心領域	タンパク質	4
4-1	619-1662	中心+陽性調節領域を含む	DNA	5
4-1	1-348	中心+陽性調節領域を含む	タンパク質	6
4-15	619-1713	中心+陽性調節領域を含む	DNA	7
4-15	1-365	中心+陽性調節領域を含む	タンパク質	8
4-14	619-1722	中心+陽性調節領域を含む	DNA	9
4-14	1-368	中心+陽性調節領域を含む	タンパク質	10
4-13	619-1773	中心+陽性調節領域を含む	DNA	11
4-13	1-385	中心+陽性調節領域を含む	タンパク質	12
CB	1270-2058	中心+陰性調節領域	DNA	13
CB	218-480	中心+陰性調節領域	タンパク質	14
DE	1270-1575		DNA	15
DE	218-319		タンパク質	16
XY	985-1662	中心+陽性調節領域	DNA	17
XY	123-348	中心+陽性調節領域	タンパク質	18
XC	985-1269	陽性調節領域	DNA	19
XC	123-217	陽性調節領域	タンパク質	20
YB	1663-2058	陰性調節領域	DNA	21
YB	349-480	陰性調節領域	タンパク質	22
human XY		中心+陽性調節領域	DNA	23
human XY		中心+陽性調節領域	タンパク質	24

^{*} 領域は、DNA のときは塩基番号、タンパク質のときはアミノ酸番号で示す。

5

一度部分断片の領域が決定されると、その後は、当該領域を増幅させるようにプライマーを設計し、Del-1をコードする DNA を鋳型として PCR を行うことにより、容易に部分断片をコードする DNA を得ることができる。

ここで、本発明においては、上記 Del-1 部分断片のアミノ酸配列からなるタンパク質が細胞外基質との沈着活性を有する限り、当該アミノ酸配列において少なくとも1個、好ましくは1個又は数個のアミノ酸に欠失、置換、付加等の変異が生じてもよい。

5

10

15

20

25

例えば、配列番号 6 、 8 、 10 、 12 、 18 又は 24 に示すアミノ酸配列の 1 個又は数個、例えば $1 \sim 10$ 個、好ましくは $1 \sim 5$ 個のアミノ酸が欠失してもよく、配列番号 6 、 8 、 10 、 12 、 18 又は 24 に示すアミノ酸配列に、1 個又は数個、例えば $1 \sim 10$ 個、好ましくは $1 \sim 5$ 個のアミノ酸が付加してもよく、あるいは、配列番号 6 、 8 、 10 、 12 、 18 又は 24 に示すアミノ酸配列の 1 個又は数個、例えば $1 \sim 10$ 個、好ましくは $1 \sim 5$ 個のアミノ酸が他のアミノ酸に置換してもよい。従って、上記変異が導入されたアミノ酸配列を含むタンパク質をコードする遺伝子も、当該タンパク質が細胞外基質への沈着活性を有する限り本発明の遺伝子に含まれる。

また、本発明においては、上記 Del-1 部分断片のアミノ酸配列からなるタンパク質が細胞外基質への沈着を抑制する機能を有する限り、当該アミノ酸配列において少なくとも1個、好ましくは1個又は数個のアミノ酸に欠失、置換、付加等の変異が生じてもよい。

・ 例えば、CB 領域である配列番号 14 に示すアミノ酸配列の 1 個又は数個、例えば $1\sim10$ 個、好ましくは $1\sim5$ 個のアミノ酸が欠失してもよく、配列番号 14 に示す アミノ酸配列に、1 個又は数個、例えば $1\sim10$ 個、好ましくは $1\sim5$ 個のアミノ酸 が付加してもよく、あるいは、配列番号 14 に示すアミノ酸配列の 1 個又は数個、

例えば1~10個、好ましくは1~5個のアミノ酸が他のアミノ酸に置換してもよい。 従って、上記変異が導入されたアミノ酸配列を含むタンパク質をコードする遺伝子 も、当該タンパク質が細胞外基質への沈着を抑制する活性を有する限り本発明の遺 伝子に含まれる。

上記欠失、置換、付加等の変異の導入は、部位特異的突然変異誘発法を利用した変異導入用キット、例えば GeneTailorTM Site-Directed Mutagenesis System (インピトロジェン社)、TaKaRa Site-Directed Mutagenesis System (Mutan-K、Mutan-Super Express Km 等:タカラバイオ社製)を用いて行うことができる。

5

10

15

20

25

さらに、本発明においては、上記 Del-1 部分断片をコードする DNA (配列番号 5、7、9、11、17 又は 23) に対し相補的な塩基配列からなる DNA と、ストリンジェントな条件下でハイブリダイズすることができる DNA であって細胞外基質に対し結合活性を有するタンパク質をコードする DNA も本発明の遺伝子に含まれる。ストリンジェントな条件とは、例えば、塩(ナトリウム)濃度が $150\sim900$ mM であり、温度が $55\sim75$ で、好ましくは塩(ナトリウム)濃度が $150\sim200$ mM であり、温度が $60\sim70$ での条件をいう。

さらに、本発明においては、Del·1 部分断片をコードする DNA(配列番号 13 に示す)に対し相補的な塩基配列からなる DNA と、ストリンジェントな条件下でハイブリダイズすることができる DNA であって細胞外基質への沈着を抑制する活性を有するタンパク質をコードする DNA も本発明の遺伝子に含まれる。

ここで、「細胞外基質」(ECM)とは、動物組織中の細胞外に存在する生体構造物であって、細胞内で合成され細胞外に分泌・蓄積した生体高分子の会合体を意味する。主要な構成成分はコラーゲン、エラスチン、プロテオグリカン、グリコサミノグリカン、糖タンパク質である。「沈着活性」とは、Del·1 の全部又は一部の領域が細胞外基質に結合する活性を意味し、例えば全長 Del·1 よりも沈着活性が高いもの、全長 Del·1 よりも沈着活性が低いもの、あるいは全長 Del·1 より短いが沈着活性が同等であるものも含まれる。細胞外基質への沈着を抑制する活性とは、陰性調節領域の存在により、中心領域 CY や陽性調節領域 XC の存在にかかわらず、沈着活性が低下して、可溶性分画が増加する活性を意味する。沈着活性又は細胞外基質への沈着を抑制する活性の測定は、例えば以下の通り行われる。

本発明の DNA にアルカリホスファターゼなどのマーカーをコードする DNA を 連結し、これを所定の細胞(例えば cos7 細胞、CHO 細胞、NIH3T3 細胞等)に導

入して培養する。培養容器からその培養上清及び細胞を除去した後、培養容器に残った細胞外基質にアルカリホスファターゼの基質を加えて発色させ、沈着活性を測定する。Del-1 部分断片にはマーカー(アルカリホスファターゼ)も結合しているため、Del-1 部分断片が細胞外基質に沈着すると、マーカーを指標として結合活性を測定することができるとともに、結合位置を同定することができる。例えば、可溶性アルカリホスファターゼ基質を用いると、基質が発色(例えば、黄色等に発色)するため、特異的な波長での吸光度を測定することで容易に沈着活性を測定することができる。また、沈着性アルカリホスファターゼを用いると、沈着部位が発色(例えば、紫等)するため、顕微鏡観察等によりその沈着部位を容易に同定することができる。

なお、マーカーはアルカリホスファターゼに限定されるものではなく、その他 GFP とその変異型、myc や His などの tag、GST 蛋白、アイソトープ、ビオチン 化蛋白などを用いることができる。また、クロラムフェニコールアセチルトランスフェラーゼ (CAT) 遺伝子、ルシフェラーゼ遺伝子、βガラクトシダーゼなどのレポーター遺伝子を用いてアッセイすることも可能である。

- 2. 本発明の DNA を含む組換えベクター及び形質転換体の作製
- (1)DNA を含む組換えベクターの作製

5

10

15

25

本発明の DNA を含む組換えベクターは、適当なベクターに本発明の DNA を連 20 結(挿入)することにより得ることができる。本発明の DNA を挿入するためのベクターは、宿主中で複製可能なものであれば特に限定されず、例えば、プラスミド DNA、ファージ DNA、ウイルス等が挙げられる。

プラスミド DNA としては、大腸菌由来のプラスミド、枯草菌由来のプラスミド、 酵母由来のプラスミドなどが挙げられ、ファージ DNA としては入ファージ等が挙 げられる。またウイルスとしてはアデノウイルスやレトロウイルスなどが挙げられ る。

本発明のベクターには、プロモーター、本発明の DNA のほか、所望によりエン ハンサーなどのシスエレメント、スプライシングシグナル、ポリ A 付加シグナル、

選択マーカー、リボソーム結合配列 (SD 配列) などを連結することができる。なお、選択マーカーとしては、例えばジヒドロ葉酸還元酵素遺伝子、アンピシリン耐性遺伝子、ネオマイシン耐性遺伝子等が挙げられる。

5 (2)形質転換体の作製

15

20

25

本発明の形質転換体は、本発明の組換えベクターを、目的遺伝子が発現し得るように宿主中に導入することにより得ることができる。ここで、宿主としては、本発明の DNA を発現できるものであれば特に限定されるものではない。例えば、当分野において周知の細菌、酵母、動物細胞、昆虫細胞を用いることができる。また、

10 マウスなどの実験動物やブタなどの家畜、イネ、トウモロコシなどの植物を用いる ことができる。

細菌を宿主とする場合は、本発明の組換えベクターが該細菌中で自律複製可能であると同時に、プロモーター、リボゾーム結合配列、本発明の DNA、転写終結配列を含めることができる。細菌としては、大腸菌(Escherichia coli)、枯草菌(Bacillus subtilis)などが挙げられる。プロモーターとしては、例えば trp プロモーター、lac プロモーター、PL プロモーター、PR プロモーターなどが用いられる。細菌への組換えベクターの導入方法は特に限定されるものではなく、例えばカルシウムイオンを用いる方法、エレクトロポレーション法等が挙げられる。

酵母を宿主とする場合は、例えばサッカロミセス・セレビシエ(Saccharomyces cerevisiae)、シゾサッカロミセス・ポンベ(Schizosaccharomyces pombe)などが用いられる。この場合、プロモーターとしては酵母中で発現できるものであれば特に限定されず、例えば gal1 プロモーター、gal10 プロモーター、ヒートショックタンパク質プロモーター、MF α 1 プロモーター、PHO5 プロモーター、PGK プロモーター、GAP プロモーター、ADH プロモーター等が挙げられる。酵母への組換えベクターの導入方法としては、例えばエレクトロポレーション法、スフェロプラスト法、酢酸リチウム法等が挙げられる。

動物細胞を宿主とする場合は、サル細胞(cos7 細胞)、Vero、チャイニーズハムスター卵巣細胞(CHO 細胞)、マウス L 細胞、ラット GH3 細胞、又はヒト FL、

HEK293 細胞などが用いられる。プロモーターとしては、 $SR\alpha$ プロモーター、SV40プロモーター、LTR プロモーター、 β ·アクチンプロモーター等が挙げられる。動物細胞への組換えベクターの導入方法としては、例えばエレクトロポレーション法、リン酸カルシウム法、リポフェクション法等が挙げられる。

5 昆虫細胞を宿主とする場合は、Sf9 細胞、Sf21 細胞などが用いられる。昆虫細胞 への組換えベクターの導入方法としては、例えばリン酸カルシウム法、リポフェク ション法、エレクトロポレーション法などが用いられる。

また、動物、植物に対する遺伝子導入にはウィルスベクターを用いる方法や、リポフェクション法などがある。また生殖細胞や ES 細胞に対して遺伝子を導入し、遺伝子組み換え動物を作製することも可能である。

3. 本発明の Del-1 部分断片の生産

10

15

25

本発明の Del-1 部分断片は、前記形質転換体を培養あるいは飼育し、その培養物あるいは飼育産物から採取することにより得ることができる。「培養物」とは、培養上清、培養細胞、培養菌体、又は細胞若しくは菌体の破砕物のいずれをも意味するものである。「飼育産物」とは動物、植物の本体、組織、分泌物、排泄物およびそれらの加工品のいずれをも意味するものである。

本発明の形質転換体を培養する方法は、宿主の培養に用いられる通常の方法に従って行われる。

20 細菌や酵母等を宿主とする形質転換体を培養する培地としては、微生物が資化し得る炭素源、窒素源、無機塩類等を含有し、形質転換体の培養を効率的に行うことができる培地であれば、天然培地、合成培地のいずれを用いてもよい。

炭素源としては、グルコース、フラクトース、スクロース、デンプン等の炭水化物、酢酸、プロピオン酸等の有機酸、エタノール、プロパノール等のアルコール類が用いられる。

窒素源としては、アンモニア、塩化アンモニウム、硫酸アンモニウム、酢酸アン モニウム、リン酸アンモニウム等の無機酸若しくは有機酸のアンモニウム塩、ペプトン、肉エキス、コーンスティープリカー等が用いられる。

無機物としては、リン酸第一カリウム、リン酸第二カリウム、リン酸マグネシウム、硫酸マグネシウム、塩化ナトリウム、硫酸第一鉄、硫酸マンガン、硫酸銅、炭酸カルシウム等が用いられる。

培養は、通常、振盪培養又は通気攪拌培養などの好気的条件下、例えば 37℃で 12~24 時間行う。pH の調整は、無機又は有機酸、アルカリ溶液等を用いて行う。 プロモーターとして誘導性のプロモーターを用いた発現ベクターで形質転換した 微生物を培養する場合は、必要に応じてインデューサーを培地に添加してもよい。 例えば、Lac プロモーターを用いた発現ベクターで形質転換した微生物を培養する

ときにはイソプロピル·β·D·チオガラクトシド(IPTG)等を培地に添加してもよい。

10 動物細胞を宿主として得られた形質転換体を培養する培地としては、一般に使用されている RPMI-1640 培地、DMEM 培地又はこれらの培地に牛胎児血清等を添加した培地等が用いられる。

培養は、通常、5%CO₂存在下、37℃で1~4日行う。培養中は必要に応じてカナマイシン、ペニシリン等の抗生物質を培地に添加してもよい。

15 培養後、本発明のタンパク質が菌体内又は細胞内に生産される場合には、菌体又は細胞を破砕することによりタンパク質を抽出する。また、タンパク質が菌体外又は細胞外に生産される場合には、培養液をそのまま使用するか、遠心分離等により菌体又は細胞を除去する。その後、タンパク質の単離精製に用いられる一般的な生化学的方法、例えば硫酸アンモニウム沈殿、ゲルクロマトグラフィー、イオン交換20 クロマトグラフィー、アフィニティークロマトグラフィー等を単独で又は適宜組み合わせて用いることにより、前記培養物中から本発明の Del-1 部分断片を単離精製することができる。

動物(マウス、ラット、ウサギ、ヤギ、ウシ等の実験動物又は家畜)、あるいは植物が形質変換体として用いられる場合、それらは通常の飼育、栽培方法以外に、無菌環境や特殊飼料など特殊な飼育培養方法を必要とする可能性もある。形質転換体が上記動物の場合、肉、卵、毛、母乳、尿、糞便などから、一般的な生化学的方法、例えば硫酸アンモニウム沈殿、ゲルクロマトグラフィー、イオン交換クロマトグラフィー、アフィニティークロマトグラフィー等を単独で又は適宜組み合わせて用い

25

ることにより、本発明の Del-1 部分断片を単離精製することができる。

また形質転換体が植物の場合、葉、花、実、根などのほか、栽培に用いた土や水などから、一般的な生化学的方法、例えば硫酸アンモニウム沈殿、ゲルクロマトグラフィー、イオン交換クロマトグラフィー、アフィニティークロマトグラフィー等を単独で又は適宜組み合わせて用いることにより、本発明の Del-1 部分断片を単離精製することができる。

本発明においては、in vitro 翻訳による Del-1 部分断片の合成を採用することができる。この場合は、RNA を鋳型にする方法と DNA を鋳型にする方法(転写/翻訳)の2 通りの方法を用いることができる。鋳型 DNA としては、翻訳開始点の上流にプロモーターとリボゾーム結合部位を有している上記 DNA、あるいは翻訳開始点の上流に転写に必要なプロモーター等が組み込まれた DNA が挙げられる。in vitro 翻訳システムは、市販のシステム、例えば Expressway TM システム (Invitrogen 社)、TNT システム(登録商標; Promega 社)などを用いることができる。in vitro 翻訳システムによる Del-1 部分断片の翻訳後は、上記生化学的方法を単独で、又は適宜組み合わせることにより、目的の断片を単離精製することができる。

4. 目的遺伝子の発現産物の回収

5

10

15

20

25

Del-1 部分断片及び目的分子を発現する細胞系又は動植物は、目的遺伝子を発現させることにより、その発現産物である目的分子(例えば、タンパク質、抗体、ペプチド、天然若しくは合成化合物、他の細胞、又は可溶性分子)を回収するために使用することができる。また、Del-1 部分断片を直接使用することもできる。

目的分子を回収する方法を以下に説明する。まず、目的分子と Del·1 部分断片とが結合した融合タンパク質を作製する。すなわち、当該分子をコードする DNA 及び Del·1 部分断片コードする DNA を連結し、これを適当なベクターに連結する。

これを宿主細胞に導入して培養し、目的分子が連結した融合タンパク質を作製する。 ベクターへの連結、細胞への導入、形質転換細胞の培養法、形質転換体の飼育栽培 法は前記2項,3項の説明と同様である。

形質転換細胞を用いる場合、上記融合タンパク質のうち、Del-1 部分断片の全部

又はその一部の領域は、培養容器上に広がる細胞外基質に沈着する。従って、培養後に培養上清及び細胞を除去しても、融合タンパク質は細胞外基質に沈着した状態で培養容器に残存している。そこで、培養容器から培養上清及び細胞を除去した後、融合タンパク質が沈着している細胞外基質を機械的にかきとることにより、目的分子を回収することができる。また、あらかじめ目的分子の DNA 塩基配列と Del-1部分断片の塩基配列の間に特異的な酵素(例えば Factor Xa)の切断配列を挿入しておけば、その酵素を用いて目的分子のみ回収することも可能である。また、Del-1部分断片の陰性調節領域を加えることで溶液中に回収することも可能である。

5

20

25

ここで、Del-1 部分断片と発現目的分子とが結合している融合タンパク質から、 発現目的分子を同定し単離するために、Del-1 部分断片に標識を付けることが必要 である。Del-1 部分断片は、アルカリホスファターゼ若しくは西洋わさびパーオキ シダーゼ等の酵素、あるいはフルオレセインイソチオシアナート(FITC)、フィコシ アニン若しくはローダミンを含む蛍光標識などの試薬を用いて標識することができ る。

15 また、本発明の Del-1 部分断片は、細胞外基質への沈着活性を有するため、結合 検定、アフィニティークロマトグラフィー、免疫沈降法、ウエスタン法などに利用 することができる。

Del-1 部分断片と結合できる発現目的ポリペプチドの同定は、組換え Del-1 部分 断片によるペプチドライブラリーのスクリーニングによって行うことも可能である。

標識された前記融合タンパク質をランダムペプチドライブラリーとともにインキュベートし、Del-1 部分断片とライブラリー中のペプチドとを結合させる。次にそのライブラリーを洗浄し、未結合のポリペプチドを除去する。アルカリホスファターゼ又はパーオキシダーゼの基質、たとえば、5・ブロモ・4・クロロ・3・インドリルホスフェート(BCIP)、3,3'-ジアミノベンジジン(DAB)を含むウェルにライブラリーのペプチドを添加し、数分インキュベートすると、アルカリホスファターゼ等が発色するため、目的分子を容易に同定し単離することができる。

形質転換体が動植物の場合、上記融合タンパク質を特定の部位に発現させると、本発明の Del-1 部分断片は細胞外基質に沈着するため、目的タンパクはその組織で

濃縮される。従ってその農畜産物を直接食することや生化学的に抽出することで効 率的に目的分子を回収し利用できる。

5. 細胞外基質への沈着部位の同定

10

15

20

5 前記1項において説明したように、本発明の Del-1部分断片は、細胞外基質への 沈着活性を有する。沈着性マーカーを使用することにより、本発明の Del-1部分断 片は、視覚的に細胞外基質への沈着部位を観察することができる。

従って、本発明の Del-1 部分断片は、細胞外基質への沈着部位を同定するための 試薬として使用することができ、マーカー、発色基質、マーカーに対する抗体等と ともに、細胞外基質沈着部位同定用キットに含めることができる。

6. 生物活性物質の生体内特定部位への固定

目的分子と本発明の Del-1 部分断片とからなる融合タンパク質を特定組織内で発現させた場合、その目的分子は細胞外基質の所定の部位に固定され他の部位へ移行しない。結果として、その部位で濃縮される。

これによって、本発明の Del-1 部分断片をコードする塩基配列は、適切な細胞、 組織又は臓器に特異的なプロモーター配列と組み合わせて、目的分子を特定組織に 発現させ、固定、限定、濃縮するためのベクターとして使用することができる。

さらに BCIP を用いた染色により、細胞外アルカリホスファターゼ活性は細胞外 基質に存在することがわかった。(実施例2)

このように、Del-1 タンパク質の部分断片は、全長 Del-1 タンパク質よりはるかに強力な細胞外基質沈着能を有し、アルカリホスファターゼのような他のタンパク質を細胞外基質に固定する働きがあることを意味している。

25 7. 生物活性物質による人工物の修飾

ある生物活性物質と Del·1 部分断片の融合蛋白を産生する大腸菌や細胞を人工物 上で培養することで、人工物に生物活性物質をその生物学的機能を損なうことなく 沈着させることができる。例えば、図 2 の結果は、培養皿という人工物がアルカリ

ホスファターゼという活性物質で修飾されたことを示している。血液透析の膜や植 え込み用人工素材の修飾に応用できる。

8. 沈着活性の調節、薬物送達システム

本発明の Del·1 部分断片は、目的分子を結合することにより当該目的分子を細胞 5 外基質に沈着させることができる。また、本発明の Del-1 部分断片は、陽性調節領 域と陰性調節領域を利用することで、沈着活性を人為的に調節することができる。 例えば、図1に示す YB 領域又は XC 領域の存在又は不存在により、あるいはこれ らの領域の長さを適宜変えることにより、沈着活性の程度を変えることができる(図 1の4-8.4-13.4-1.XY等)。具体的には、配列番号2に示されるアミノ酸配列のう 10 ち、活性中心領域 CY (配列番号4、5) と陽性調節領域(配列番号19、20) とを含む断片、活性中心領域 CY(配列番号4、5)と陰性調節領域(配列番号2) 1、22)とを含む断片、あるいはこれらの両者を、細胞外基質と反応させること により、陽性調節又は陰性調節によって種々の強さの沈着活性を得る。従って、目 的分子を所定の薬理作用を有するタンパク質とすれば、本発明の融合タンパク質を 15 薬物送達システム(ドラッグデリバリーシステム:DDS)として使用することも可 能である。例えば、中心領域及び陽性調節領域を含む 4-1 と、抗ガン剤の前駆体を 抗ガン剤に変換する酵素の融合蛋白をコードする遺伝子をガン組織に遺伝子導入し ておく。その後、抗ガン剤の前駆体を大量に投与すると、ガン組織で健常組織に対 して高い薬物濃度を得ることができる。治療後に陰性調節領域を含む CB(配列番 20 号13、14)の遺伝子を導入することにより、先に導入した遺伝子産物が血中に 遊離し、血液透析などで除去することが可能になる。

実施例

25 以下、実施例により本発明をさらに具体的に説明する。但し、本発明はこれら実施例に限定されるものではない。

〔実施例 1〕 Del·1 部分断片の作製

受精後 9 から 12 日のマウス胎児より TRIzol (Invitrogen 社)を用いて RNA を抽

出した。それを鋳型とし、Superscrpt II (Invitrogen 社)を用いて逆転写反応を行い cDNA を作製した。配列番号 2 に示すアミノ酸配列のうち、シグナルペプタイドの 配列を除いた塩基配列 697~2089 を、PCR で増幅した後にベクターに挿入できる 様に、プライマーの 5 末端に制限酵素認識配列を入れた。プライマーの塩基配列は 以下の通りである。

Forward primer; AAA GAT CTA ACC CGA ACC CCT GTG AA (配列番号 25)
Reverse primer; AAC TCG AGC ATT GTG GGA TGT GCG (配列番号 26)
PCR は、以下の反応液組成を用いて、94℃で 30 秒、62℃で 30 秒、72℃で 1 分 30 秒の反応を 35 回行った。

10

5

反応液組成 (50 µ l 中):
逆転写酵素産生 cDNA 5 µ l
プライマー 各 1 µ M
dNTP 各 0.5 mM
ポリメラーゼ 2 unit
緩衝液 10 mM Tris-HCl(pH8.3)
50 mM KCl
1.5 mM MgCl2

この PCR 産物を制限酵素の Bgl II と Xho I で処理し、プラスミド pAPtag-5(フナコシ社)に連結した。この様にして作製したプラスミドを Xho I で切断した後、Exonuclease III (タカラバイオ社)で 10 秒から 2 分処理して、図 1 に示す様々な長さの Del-1 部分断片 (4-8, 4-13, 4-14, 4-1, 4-11, 2-6, Del-1 minor, 1-1, 2-3) を作製した。また、PCR を用いて図 1 に示す様々な長さの Del-1 部分断片 (CB, CY, YB, XY, XC, human XY, AP only)、および、図 1 に示されていない、Del-1 部分断片 FB (配列番号 1 に示す塩基配列の 1576~2058 番)、4-15 (配列番号 8)、CE (配列番号 16) を作製した。

20

15

〔実施例 2〕 Del-1 部分断片の細胞外基質への沈着活性

(1) 実施例1で作製した部分断片のうち、4·8, 4·13, 4·14, 4·1, 4·11, 2·6, Del·1

minor, 1-1, 2-3をプラスミドpAPtag-5(フナコシ社)に連結し、cos7細胞に導入した。 導入後3日後に培養上清、細胞及び細胞外基質を採取した。まず上清を採取した後、 0.05%EDTAを含むPBSを加えてインキュベートすることで細胞が培養皿の底から 剥がれて採取可能になり、培養皿の底には細胞外基質が残される。こうしてそれぞれに含まれるアルカリホスファターゼ活性を検出した。対照として、野生型全長 Del-1 (AP4Del-1) 及び培地のみのサンプルを作製し、アルカリホスファターゼ活性を検出した。アルカリホスファターゼ活性に対する細胞外基質の比(AP活性比 ECM/Medium)として求め、図1の右側にグラフで表示した。

5

20

25

図1より、4-1、4-8, 4-14 及び 4-13 が野生型 Del-1 (Del-1 major) よりも活性が 10 強く、4-11 及び 2-6 は野生型 Del-1 よりも活性は低下し、Del-1 minor ではほとん ど活性が認められなかった。

沈着活性の中心領域を検討するため、CB(配列番号 1 に示す塩基配列の 1270~2058番)、CY、YB、XY、XC、human XY および AP only を発現させて上記と同様にしてアルカリホスファターゼ活性を測定した。

15 その結果、XY と human XY では、野生型全長 Del-1 よりも高いアルカリホスファターゼ活性が認められ、また CB と CY では、野生型全長 Del-1 よりは高くないが、ある程度のアルカリホスファターゼ活性が認められた。これに対し、XC と YB ではアルカリホスファターゼ活性が認められなかった。

これらの結果から、活性中心領域は配列番号3で示される CY(配列番号1に示す塩基配列の 1270~1662 番目の領域)、配列番号2に示すアミノ酸配列の 218~348番目のアミノ酸配列の領域であると考えられた。

CYにXCを連結させたXYは、前記活性中心領域CYのみに比べて約10倍の沈着活性を有する。また、XCのみでは、沈着活性をほとんど有しない。したがって、XCは細胞外基質への沈着活性を向上させる、細胞外基質への沈着活性の陽性調節領域であると考えられた。

他方、CY に YB を連結させた CB は、前記活性中心領域 CY のみに比べて、沈着活性が約 0.5 倍に低減する。したがって、YB は細胞外基質への沈着活性を低減させる、細胞外基質への沈着活性の陰性調節領域であると考えられた。

(2) さらに、実施例1で作製した Del-1部分断片のうち、Del-1 minor (配列番号 1に示す塩基配列の 619~1271番) 又は 4-1をプラスミド pAPtag-5(フナコシ社) に連結し、cos7細胞に導入した。導入後3日後に培養上清、細胞及び細胞外基質を採取した。まず上清を採取した後、0.05%EDTAを含む PBS を加えてインキュベートすることで細胞が培養皿の底から剥がれて採取可能になり、培養皿の底には細胞外基質が残される。そして、それぞれに含まれるアルカリホスファターゼ活性を検出した。

5

10

15

20

25

結果を図2に示す。図2において、A~D は Del·1 minor を用いて作製したサンプルの結果であり、E~H は、4·1 を用いて作製したサンプルの結果である。また、A 及び E は細胞を沈着性アルカリホスファターゼ基質 (BCIP) で染色したものである。B 及び F は、細胞を 0.05% EDTA を用いて剥がした後、残った細胞外基質をBCIP で染色した結果である。C 及び G は、細胞を 0.05% EDTA を用いて剥がした後、残った細胞外基質に可溶性アルカリホスファターゼ基質 (PNPP) を加えて発色させたときの結果である。D 及び H は、従来行われていたように、細胞培養液 (培養上清) に PNPP を加え発色反応させたときの結果である。

紫色に染まった箇所がアルカリホスファターゼ活性部位、すなわち 4-1 の沈着部位である (E,F)。図 2E 及び F の結果から、4-1 は細胞及び細胞外基質に沈着したことが分かる。これに対し、Del-1 minor は、細胞及び細胞外基質のいずれにも沈着しなかった (A.B)。

同様に、4-1を用いたときは、細胞外基質は可溶性基質である PNPP によって黄色に染色されたのに対し(G)、Del-1 minor を用いたときは全く染色されなかった(C)。また、細胞培養液に PNPP を加え発色反応を行なった場合において、Del-1 minorを用いたときは培養液が黄色に染色されたのに対し(D)、4-1を用いたときは発色しなかった(H)。従って、4-1は細胞外基質に沈着し、Del-1 minor はほとんど沈着しなかったことが分かる。

ところで、本発明においては、図2Gに示すように可溶性アルカリホスファター ゼを用いて基質を発色させることにより、そのまま吸光度計などを用いて細胞外基

質中のアルカリホスファターゼ活性を測定することができる。

そこで、Del-1部分断片(4-1)及び全長 Del-1について、細胞外基質内及び培養上清中のアルカリホスファターゼ活性を測定し、両者を比較したところ、Del-1部分断片(4-1)は全長 Del-1より 2.5 倍も基質への沈着活性が高かった。

5

10

15

20

25

(3) 実施例1で作製した Del-1 部分断片のうち、配列番号17で示す切断型 Del-1 遺伝子配列(XY)とアルカリホスファターゼ遺伝子とを連結した DNA(AP/XY)を導入したマウスの肝臓と、その対照として、アルカリホスファターゼ遺伝子(AP)のみ導入したマウスの肝臓を調製した。遺伝子導入から24時間後に、各肝臓から血漿と肝組織を採取して、アルカリホスファターゼ活性を測定した。

ここで、遺伝子導入効率を標準化するため、ベーターガラクトシダーゼ遺伝子を、前記 AP/XY または AP と同時に導入し、アルカリホスファターゼ活性と共にベーターガラクトシダーゼ活性も測定した。そして、測定されたベーターガラクトシダーゼ活性をベーターガラクトシダーゼ活性の値で割った商を測定値(AP/Lac 比)とした。また、アルカリホスファターゼ遺伝子(AP)のみを導入したマウスの肝臓から採取した血漿または肝組織の AP/Lac 比を「1」とした場合の、XY とアルカリホスファターゼ遺伝子とを連結した DNA(AP/XY)を導入したマウスの肝臓から採取した血漿または肝組織中の AP/Lac 比をグラフに示した。図3は各肝臓から採取した血漿中の AP/Lac 比を示したものであり、図4は各肝臓から採取した血漿中の AP/Lac 比を示したものである。

肝組織中のAP/Lac 比に関しては、AP/XY を導入した肝臓から採取した肝組織の方が、AP のみを導入した肝臓から採取した肝組織に比べて約8倍のAP/Lac 比を示した(図4)。これに対し、血漿中のAP/Lac 比に関しては、AP/XY を導入した肝臓から採取した血漿では、AP 活性がほとんど検出されなかったため、そのAP/Lac 比もほとんど0であった。

(4) (3)で調製した、AP/XY を導入したマウスの肝臓から肝組織の凍結切片を3つ作製した(B, E, F)。同様に、AP のみ導入したマウスの肝臓から肝組織の凍結切

片をそれぞれ3つ作製した(A, C, D)。

5

図 5 は、各肝臓から採取した肝組織の凍結切片を用いてアルカリホスファターゼ染色 (A, B, C, E) と β ガラクトシダーゼ(D, F)による染色を示す図である。Aと Bは 40 倍、C, D, E, Fは 200 倍の倍率での観察である。AP(A)に対し、AP/XY(B)が著明に沈着していることがわかる。 C, Dと E, F はそれぞれ連続切片であり、アルカリホスファターゼ染色と β ガラクトシダーゼ染色の両方で染色した。AP(C, D)でも AP/XY(E, F)同様に β ガラクトシダーゼ染色(D, F)で染まっており、遺伝子導入効率に差がないことがわかる。

- 10 (5) 次に、ウェスタンブロット法を用いて、全長 Del-1 および実施例1で作製した Del-1 部分断片である XY を検出した。具体的には、下記の3種の遺伝子を用意し、 各遺伝子を cos7 細胞に導入した。
 - (i) 配列番号 1 で示す全長 Del-1 遺伝子配列 (Del-1 major) とアルカリホスファターゼ遺伝子とを連結した DNA (AP/Del-1)
- (ii) 配列番号17で示す切断型 Del-1 遺伝子配列(XY) とアルカリホスファター ゼ遺伝子とを連結した DNA(AP/XY)
 - (iii) また、その対照として、アルカリホスファターゼ遺伝子のみ(AP)と遺伝子を導入していない(NC)cos7 細胞も用意した。

次に、前記4種の cos7 細胞をそれぞれ7 2 時間培養し、培養液 (medium) と細20 胞外基質 (ECM) を採取してウェスタンブロットを行った。コントロールとしてラミニン (Laminin) とアルブミン (Albmin) を用いた。

図6は、ウェスタンブロット法による電気泳動を示す写真である。ラミニンをコントロールとして用いた電気泳動を示す写真が上段に、アルブミンをコントロールとして用いた電気泳動を示す写真が下段に配置されている。

25 図6によれば、AP のみを導入した cos7 細胞では、遺伝子を導入されていない (NC) cos7 細胞と同様、細胞外基質にアルカリホスファターゼの組換えタンパク 質が検出されなかったが、培地では前記組換えタンパク質が検出された。これに対し、AP/Del-1 または AP/XY を導入した cos7 細胞では、細胞外基質においてアルカ

リホスファターゼの組換えタンパク質が高度に検出された。

〔実施例3〕 目的分子の回収

5

本実施例は、アルカリホスファターゼを目的遺伝子の発現産物として回収した例を示すものである。アルカリホスファターゼの回収は、アルカリホスファターゼの 基質との発色反応により検出を行うことで確認した。

アルカリホスファターゼ遺伝子と切断型 Del-1 遺伝子配列(4-1)を連結した DNA を導入した cos7 細胞と、対照として、野生型 cos7 細胞およびアルカリホスファターゼ遺伝子のみ導入した cos7 細胞を調製した。

10 それらの細胞を3日間培養した後に、0.05%EDTA 溶液で細胞を取り除き、スクレーパーで底面の細胞外基質を回収した。回収したサンプルを遠心器にかけて、遠心の後の上清を取り除くことによってペレットを作製した後、実施例2(図3B,F)と同様の操作を行いアルカリホスファターゼの基質である BCIP を加えて発色させた。

15 結果を図7に示す。図7において、(a)は野生型 cos7 細胞、(b)はアルカリホスファターゼ遺伝子のみを導入した cos7 細胞、(c)は 4-1 部分断片とアルカリホスファターゼ遺伝子を連結した融合遺伝子を導入した cos7 細胞の結果である。図4に示したように、Del-1 部分断片 (4-1)を導入したサンプル(c)ではペレットが濃青紫に染色された。これによって、不溶性の細胞外基質に Del-1 部分断片 (4-1)を介してアルカリホスファターゼが回収されたことがわかった。これに対し、対照ではほとんど発色しなかったことから、アルカリホスファターゼはほとんど回収されないことが示された。

産業上の利用可能性

25 本発明の Del-1 部分断片を用いることによって、目的分子を細胞外基質や人工素材に効率的に沈着させることができ、また当該沈着によって、目的分子を回収又は除去に用いることができる。 本発明により Del-1 部分断片を用いて目的分子を細胞外基質上に沈着させ、血漿への流出を高度に防止することができるため、本発明

の Del-1 部分断片と当該目的分子とを有する融合タンパク質は、副作用の少ないドラッグデリバリーシステムとして用いることができる。さらに、本発明の Del-1 部分断片を用いて沈着活性を調整することによって、当該目的分子の局所における濃縮や限局の程度を高度にコントロールすることができ、極めて高機能なドラッグデリバリーシステムとして用いることができる。

5

請求の範囲

- 1. 以下の (a)又は(b)のタンパク質。
 - (a) 配列番号18若しくは24に示されるアミノ酸配列を含むタンパク質
- 5 (b) 配列番号18若しくは24に示されるアミノ酸配列において1若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列を含み、かつ、細胞外基質への沈着活性を有するタンパク質
 - 2. 以下の (a)又は(b)のタンパク質。
- (a) 配列番号6、8、10、12、18若しくは24に示されるアミノ酸配列か 10 らなるタンパク質
 - (b) 配列番号6、8、10、12、18若しくは24に示されるアミノ酸配列に おいて1若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配 列からなり、かつ、細胞外基質への沈着活性を有するタンパク質
 - 3. 以下の (a)又は(b)のタンパク質。
- 15 (a) 配列番号14に示されるアミノ酸配列を含むタンパク質
 - (b) 配列番号14に示されるアミノ酸配列において1若しくは数個のアミノ酸が 欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列を含み、かつ、細胞外基質への沈 着を抑制する活性を有するタンパク質
 - 4. 以下の (a)又は(b)のタンパク質をコードする遺伝子。
- 20 (a) 配列番号18若しくは24に示されるアミノ酸配列を含むタンパク質
 - (b) 配列番号18若しくは24に示されるアミノ酸配列において1若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列を含み、かつ、細胞外基質への沈着活性を有するタンパク質
 - 5. 以下の (a)又は(b)のタンパク質をコードする遺伝子。
- 25 (a) 配列番号 6、8、10、12、18若しくは24に示されるアミノ酸配列からなるタンパク質
 - (b) 配列番号6、8、10、12、18若しくは24に示されるアミノ酸配列に おいて1若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配

列からなり、かつ、細胞外基質への沈着活性を有するタンパク質

- 6. 以下の (a)又は(b)のタンパク質をコードする遺伝子。
 - (a) 配列番号14に示されるアミノ酸配列を含むタンパク質
- (b) 配列番号14に示されるアミノ酸配列において1若しくは数個のアミノ酸が 欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列を含み、かつ、細胞外基質への沈 着を抑制する活性を有するタンパク質
- 7. 以下の(a)又は(b)の DNA を含む遺伝子。

5

- (a) 配列番号17若しくは23に示される塩基配列を含む DNA
- (b) 配列番号17若しくは23に示される塩基配列からなる DNA に対し相補的 な塩基配列を含む DNA とストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ、細胞外基質への沈着活性を有するタンパク質をコードする DNA
 - 8. 以下の(a)又は(b)の DNA を含む遺伝子。
 - (a) 配列番号 5 、 7 、 9 、 1 1 、 1 7 若しくは 2 3 に示される塩基配列からなる DNA
- 15 (b) 配列番号 5、7、9、11、17若しくは23に示される塩基配列からなる DNA に対し相補的な塩基配列からなる DNA とストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ、細胞外基質への沈着活性を有するタンパク質をコードする DNA
 - 9. 以下の(a)又は(b)の DNA を含む遺伝子。
- 20 (a) 配列番号13に示される塩基配列を含む DNA
 - (b) 配列番号13に示される塩基配列からなる DNA に対し相補的な塩基配列を含む DNA とストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ、細胞外基質への沈着を抑制する活性を有するタンパク質をコードする DNA
 - 10. 請求項4~9のいずれか1項に記載の遺伝子を含む組換えベクター。
- 25 11. 請求項10記載の組換えベクターを含む形質転換体。
 - 12. 請求項11記載の形質転換体を培養し、得られる培養物から Del-1 タンパク質の部分断片を採取することを特徴とする Del-1部分断片の製造方法。
 - 13. 請求項 $1\sim3$ のいずれか1項に記載のタンパク質と細胞外基質とを反応させ

ることにより、前記タンパク質が前記細胞外基質に沈着する部位を同定する方法。

- 14. 請求項1~3のいずれか1項に記載のタンパク質を含む、細胞外基質沈着部 位同定用試薬。
- 5 15. 請求項1~3のいずれか1項に記載のタンパク質と発現の目的分子とが連結 した融合タンパク質。
 - 16. 請求項15記載の融合タンパク質を含有する薬物送達システム。
 - 17. 請求項4~9のいずれか1項に記載の遺伝子と、発現の目的分子をコードする遺伝子とが連結された、融合タンパク質をコードする遺伝子。
- 10 18. 請求項17記載の遺伝子を含む組換えベクター。
 - 19. 請求項18記載の組換えベクターを含む形質転換体。
 - 20. 請求項19記載の形質転換体を培養し、得られる培養物から Del·1タンパク 質の部分断片と発現の目的分子との融合タンパク質を採取することを特徴とす る該融合タンパク質の製造方法。
- 15 21. 請求項15記載の融合タンパク質を細胞外基質に沈着させ、目的分子を採取 することを特徴とする目的分子の回収方法。
 - 22. 目的分子を沈着させる方法であって、以下の工程:
 - (a) 請求項19記載の形質転換体を培養することによって、発現の目的分子と Del-1 タンパク質の部分断片との融合タンパク質を生産させる工程、及び
- 20 (b) 前記融合タンパク質を細胞外基質に沈着させる工程 を含む前記方法。
 - 23. 目的分子を回収する方法であって、以下の工程:
 - (a) 請求項19記載の形質転換体を培養することによって、発現の目的分子と Del-1タンパク質の部分断片との融合タンパク質を生産させる工程、
- 25 (b) 前記融合タンパク質を細胞外基質に沈着させる工程、及び
 - (c) 前記融合タンパク質から目的タンパク質を切断することによって、前記目的 分子を採取する工程

を含む前記方法。

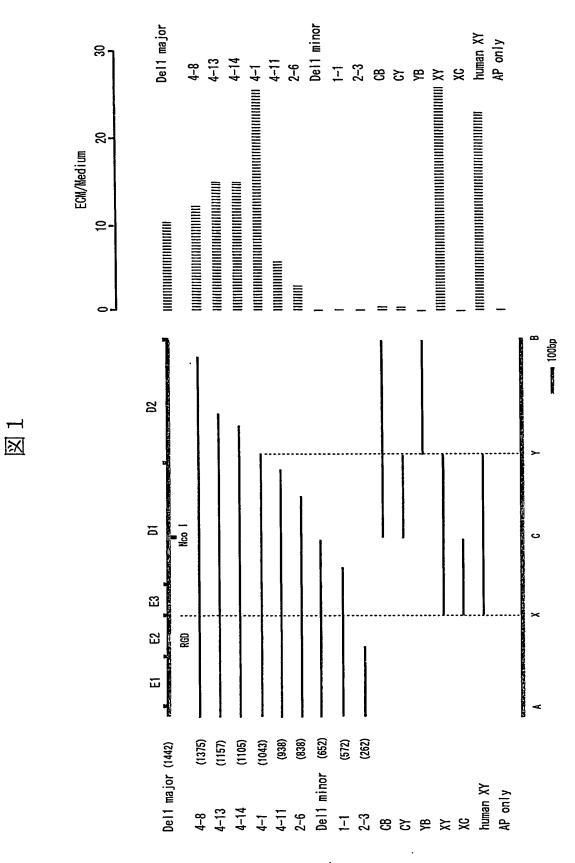
24. 配列番号2に示されるアミノ酸配列のうち、活性中心領域と陽性調節領域とを含む断片、及び/又は活性中心領域と陰性調節領域とを含む断片を細胞外基質と反応させることを特徴とする、細胞外基質への沈着活性を調節する方法。

25. 活性中心領域のアミノ酸配列が配列番号4に示されるものである請求項24 記載の方法。

5

10

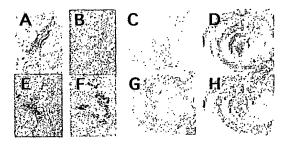
- 26. 陽性調節領域のアミノ酸配列が配列番号20に示されるものである請求項24記載の方法。
- 27. 陰性調節領域のアミノ酸配列が配列番号22に示されるものである請求項24記載の方法。



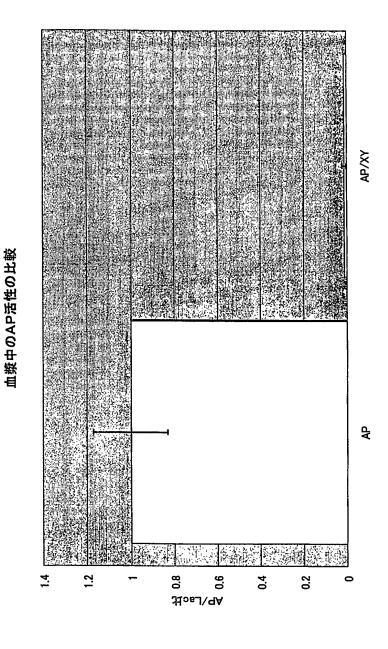
BEST AVAILABLE COPY

WO 2005/001093 PCT/JP2004/009616

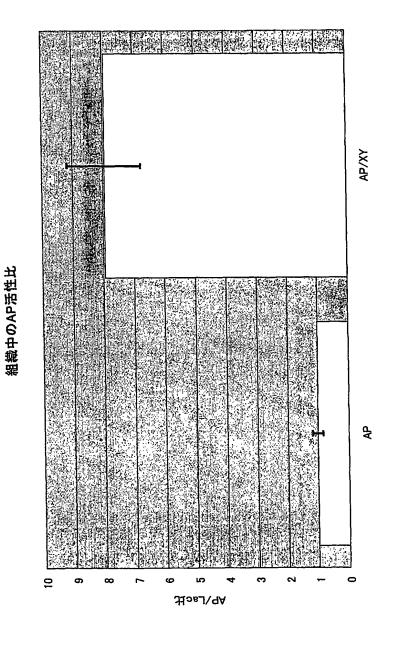
図 2



<u>図</u>



<u>図</u> 4





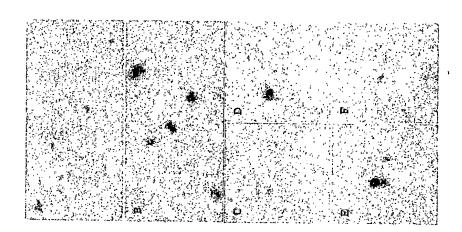
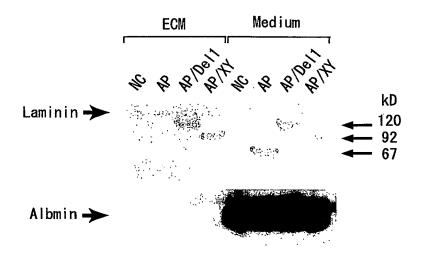


図 6



(i)

(p)

×

7/7

SEQUENCE LISTING

<110>	NIHON UNIVERSITY	
<120>	Truncated Del-1 protein	
<130>	P03-0057PCT	
	JP2003-188598 2003-06-30	
<160>	26	
<170>	PatentIn version 3. 2	
<210> <211> <212> <213>	2303	
<220> <221> <222>	CDS (619) (2061)	
<400> gaatte	l ccggt taactgagga caaagggtaa tgcagaagtg atatttgatt tccatto	etca 60
ttccca	agtgg ccttgatatt taaactgatt cctgccacca ggtccttggg ccaccc	gtc 120
cctgcg	gtoto ataittoigo aigoigoitti giitgiatai agigogoico iggooto	cagg 180
ctcgct	tcccc tccagctctc gcttcattgt tctccaagtc agaagccccc gcatcc	eccg 240
cgcagc	cageg tgageegtag teactgetgg eegettegee tgegtgegeg caegga	aatc 300
ggggag	gccag gaacccaagg agccgccgtc cgcccgctgt gcctctgcta gaccac	tcgc 360
agcccc	cagee teteteaage geaceeacet eegegeacee eageteagge gaagets	ggag 420

tgagggtgaa tcaccctttc tctagggcca ccactctttt atcgcccttc ccaagatttg	480
agaagcgctg cgggaggaaa gacgtcctct tgatctctga cagggcgggg tttactgctg	540
tcctgcaggc gcgcctcgcc tactgtgccc tccgctacga ccccggacca gcccaggtca	600
cgtccgtgag aagggatc atg aag cac ttg gta gca gcc tgg ctt ttg gtt Met Lys His Leu Val Ala Ala Trp Leu Leu Val 1 5 10	651
gga ctc agc ctc ggg gtg ccc cag ttc ggc aaa ggt gac att tgc aac Gly Leu Ser Leu Gly Val Pro Gln Phe Gly Lys Gly Asp Ile Cys Asn 15 20 25	699
ccg aac ccc tgt gaa aat ggt ggc atc tgt ctg tca gga ctg gct gat Pro Asn Pro Cys Glu Asn Gly Gly Ile Cys Leu Ser Gly Leu Ala Asp 30 35 40	747
gat tcc ttt tcc tgt gag tgt cca gaa ggc ttc gca ggt ccg aac tgc Asp Ser Phe Ser Cys Glu Cys Pro Glu Gly Phe Ala Gly Pro Asn Cys 45 50 55	795
tct agt gtt gtg gag gtt gca tca gat gaa gaa aag cct act tca gca Ser Ser Val Val Glu Val Ala Ser Asp Glu Glu Lys Pro Thr Ser Ala 60. 65 70 75	843
ggt ccc tgc atc cct aac cca tgc cat aac gga gga acc tgt gag ata Gly Pro Cys Ile Pro Asn Pro Cys His Asn Gly Gly Thr Cys Glu Ile 80 85 90	891
agc gaa gcc tat cga gga gac aca ttc ata ggc tat gtt tgt aaa tgt Ser Glu Ala Tyr Arg Gly Asp Thr Phe Ile Gly Tyr Val Cys Lys Cys 95 100 105	939
cct cgg gga ttt aat ggg att cac tgt cag cac aat ata aat gaa tgt Pro Arg Gly Phe Asn Gly Ile His Cys Gln His Asn Ile Asn Glu Cys 110 115 120	987
gaa gct gag cct tgc aga aat ggc gga ata tgt acc gac ctt gtt gct Glu Ala Glu Pro Cys Arg Asn Gly Gly Ile Cys Thr Asp Leu Val Ala	1035

125 130 135

										_	-	cga Arg		_		1083
												atc Ile		_		1131
												ttt Phe				1179
								Leu				ggc Gly 200				1227
_			-	-	_		Asp	_							aat Asn	1275
						Val					Thr				aaa Lys 235	1323
					Glu					Tyr					agc Ser	1371
				Thr					Lys					Asr	gaa Glu	1419
	_	-	Phe	_				l Ası					Туі		t aat a Asn	1467
							_		-	_					c caa o Gln	1515

285 290 295

						_		Leu	ctt Leu				1563
									ggg Gly				1611
									ctc Leu				1659
 	 							-	aag Lys 360				1707
									caa Gln				1755
								Ile	att Ile				1803
			His	Gln	Phe	Val	Gly		tac Tyr			Ala	1851
		Gly				Val			gat Asp		Lys	cag Gln	1899
	Lys				Asn					Thr		agg Arg	1947
									ata Ile			ctt Leu	1995

445 450 455 2043 cct tgg tcc tgg tat gga agg atc act ctg cgg tca gag ctg ctg ggc Pro Trp Ser Trp Tyr Gly Arg Ile Thr Leu Arg Ser Glu Leu Leu Gly 460 475 465 470 tgc gca gag gag gaa tga agtgcggggc cgcacatccc acaatgcttt 2091 Cys Ala Glu Glu Glu 480 2151 tctttatttt cctataagta tctccacgaa atgaactgtg tgaagctgat ggaaactgca tttgttttt tcaaagtgtt caaattatgg taggctactg actgtctttt taggagttct 2211 aagettgeet tittaataat tiaattiggi tieettiget eaactetett aigiaatate 2271 2303 acactgicig tgagttactc tictigitci ct <210> 2 <211> 480 <212> PRT <213> Mus musculus <400> 2 Met Lys His Leu Val Ala Ala Trp Leu Leu Val Gly Leu Ser Leu Gly 1 5 10 15 Val Pro Gln Phe Gly Lys Gly Asp Ile Cys Asn Pro Asn Pro Cys Glu 30 20 25 Asn Gly Gly Ile Cys Leu Ser Gly Leu Ala Asp Asp Ser Phe Ser Cys 35 45 40

PCT/JP2004/009616

WO 2005/001093

50

60

Glu Cys Pro Glu Gly Phe Ala Gly Pro Asn Cys Ser Ser Val Val Glu

55

Val Ala Ser Asp Glu Glu Lys Pro Thr Ser Ala Gly Pro Cys Ile Pro 65 70 75 80

Asn Pro Cys His Asn Gly Gly Thr Cys Glu Ile Ser Glu Ala Tyr Arg 85 90 95

Gly Asp Thr Phe Ile Gly Tyr Val Cys Lys Cys Pro Arg Gly Phe Asn 100 105 110

Gly Ile His Cys Gln His Asn Ile Asn Glu Cys Glu Ala Glu Pro Cys 115 120 125

Arg Asn Gly Gly Ile Cys Thr Asp Leu Val Ala Asn Tyr Ser Cys Glu 130 135 140

Cys Pro Gly Glu Phe Met Gly Arg Asn Cys Gln Tyr Lys Cys Ser Gly 145 150 155 160

Pro Leu Gly Ile Glu Gly Gly Ile Ile Ser Asn Gln Gln Ile Thr Ala 165 170 175

Ser Ser Thr His Arg Ala Leu Phe Gly Leu Arg Lys Trp Tyr Pro Tyr 180 185 190

Tyr Ala Arg Leu Asn Lys Lys Gly Leu Ile Asn Ala Trp Thr Ala Ala 195 200 205

Glu Asn Asp Arg Trp Pro Trp Ile Gln Ile Asn Leu Gln Arg Lys Met 210 215 220

Arg Val Thr Gly Val Ile Thr Gln Gly Ala Lys Arg Ile Gly Ser Pro 225 230 235 240

Glu Tyr Ile Lys Ser Tyr Lys Ile Ala Tyr Ser Asn Asp Gly Lys Thr 245 250 255

Trp Ala Met Tyr Lys Val Lys Gly Thr Asn Glu Glu Met Val Phe Arg 260 265 270

Gly Asn Val Asp Asn Asn Thr Pro Tyr Ala Asn Ser Phe Thr Pro Pro 275 280 285

Ile Lys Ala Gln Tyr Val Arg Leu Tyr Pro Gln Ile Cys Arg Arg His 290 295 300

Cys Thr Leu Arg Met Glu Leu Leu Gly Cys Glu Leu Ser Gly Cys Ser 305 310 315 320

Glu Pro Leu Gly Met Lys Ser Gly His Ile Gln Asp Tyr Gln Ile Thr 325 330 335

Ala Ser Ser Val Phe Arg Thr Leu Asn Met Asp Met Phe Thr Trp Glu 340 345 350

Pro Arg Lys Ala Arg Leu Asp Lys Gln Gly Lys Val Asn Ala Trp Thr 355 360 365

Ser Gly His Asn Asp Gln Ser Gln Trp Leu Gln Val Asp Leu Leu Val 370 375 380

Pro Thr Lys Val Thr Gly Ile Ile Thr Gln Gly Ala Lys Asp Phe Gly 385 390 395 400

His Val Gln Phe Val Gly Ser Tyr Lys Leu Ala Tyr Ser Asn Asp Gly
405 410 415

Glu His Trp Met Val His Gln Asp Glu Lys Gln Arg Lys Asp Lys Val 420 425 430

Phe Gln Gly Asn Phe Asp Asn Asp Thr His Arg Lys Asn Val Ile Asp 435 440 445

Pro Pro Ile Tyr Ala Arg Phe Ile Arg Ile Leu Pro Trp Ser Trp Tyr 450 455 460

Gly Arg Ile Thr Leu Arg Ser Glu Leu Leu Gly Cys Ala Glu Glu 465 470 475 480

<210> 3

<211> 393

<212> DNA

<213> Mus musculus

<220>

<221> CDS

<222> (1).. (393)

<400> 3

ata aat ttg caa aga aaa atg aga gtc act ggt gtt att acc caa gga Ile Asn Leu Gln Arg Lys Met Arg Val Thr Gly Val Ile Thr Gln Gly 1 5 10 15 48

				gga Gly										(96
				ggg Gly										14	44
				gtc Val						_		_	_	1	92
				aca Thr										2	40
				cga Arg 85									ggc Gly	2	88
								Leu				Gly	cat His	3	336
			Tyr				Ser				Thr		aac Asn	Ę	384
-	_	atg Met													393
	1> 2>	4 131 PRT Mus	musc	culus	ı.										
<40		4	шиос	Jujus	•										

Ile Asn Leu Gln Arg Lys Met Arg Val Thr Gly Val Ile Thr Gln Gly
1 5 10 15

Ala Lys Arg Ile Gly Ser Pro Glu Tyr Ile Lys Ser Tyr Lys Ile Ala 20 25 30

Tyr Ser Asn Asp Gly Lys Thr Trp Ala Met Tyr Lys Val Lys Gly Thr 35 40 45

Asn Glu Glu Met Val Phe Arg Gly Asn Val Asp Asn Asn Thr Pro Tyr 50 55 60

Ala Asn Ser Phe Thr Pro Pro IIe Lys Ala Gln Tyr Val Arg Leu Tyr 65 70 75 80

Pro Gln Ile Cys Arg Arg His Cys Thr Leu Arg Met Glu Leu Leu Gly 85 90 95

Cys Glu Leu Ser Gly Cys Ser Glu Pro Leu Gly Met Lys Ser Gly His 100 105 110

Ile Gln Asp Tyr Gln Ile Thr Ala Ser Ser Val Phe Arg Thr Leu Asn 115 120 125

Met Asp Met 130

<210> 5

<211> 1044

<212> DNA

$\langle 213 \rangle$. Mus musculus

<220 <221 <222	> (DS (1)	(104	14)									
	aag	cac			gcc Ala								48
					ggt Gly								96
					tca Ser								144
					gca Ala 55								192
					aag Lys								240
					gga Gly	Thr		Glu	Ile				288
				Ile	tat Tyr			Lys				Phe	336
			Cys		aat Asn		Asn				Glu		384

		gga Gly						_						432
		gaa Glu									_	_		480
		atc Ile							-					528
		cac His 180												576
		ctt Leu												624
		aga Arg								Gln				672
					Thr				Arg				cca Pro 240	720
		aaa Lys		Tyr				Ser					Thr	768
 _	_		Lys	-			Asn	_		_	_	Phe	cgt Arg	816
		Asp				Туг					Thr		cca Pro	864

WO 2005/001093 PCT/JP	2004/009616
atc aaa gct cag tat gta aga ctc tac ccc caa att tgt cga agg cat Ile Lys Ala Gln Tyr Val Arg Leu Tyr Pro Gln Ile Cys Arg Arg His 290 295 300	912
tgt act tta aga atg gaa ctt ctt ggc tgt gag ctc tca ggc tgt tca Cys Thr Leu Arg Met Glu Leu Leu Gly Cys Glu Leu Ser Gly Cys Ser 305 310 315 320	960
gaa cct ttg ggg atg aaa tca ggg cat ata caa gac tac cag atc act Glu Pro Leu Gly Met Lys Ser Gly His Ile Gln Asp Tyr Gln Ile Thr 325 330 335	1008
gcc tcc agc gtc ttc aga aca ctc aac atg gac atg Ala Ser Ser Val Phe Arg Thr Leu Asn Met Asp Met 340 345	1044
<210> 6 <211> 348 <212> PRT <213> Mus musculus <400> 6	
Met Lys His Leu Val Ala Ala Trp Leu Leu Val Gly Leu Ser Leu Gly 1 5 10 15	·
Val Pro Gln Phe Gly Lys Gly Asp Ile Cys Asn Pro Asn Pro Cys Glu 20 25 30	
Asn Gly Gly Ile Cys Leu Ser Gly Leu Ala Asp Asp Ser Phe Ser Cys 35 40 45	
Glu Cys Pro Glu Gly Phe Ala Gly Pro Asn Cys Ser Ser Val Val Glu 50 55 60	

Val	Ala	Ser	Asp	Glu	Glu	Lys	Pro	Thr	Ser	Ala	Gly	Pro	Cys	Ile	Pro
65					70					75					80

Asn Pro Cys His Asn Gly Gly Thr Cys Glu Ile Ser Glu Ala Tyr Arg 85 90 95

Gly Asp Thr Phe Ile Gly Tyr Val Cys Lys Cys Pro Arg Gly Phe Asn 100 105 110

Gly Ile His Cys Gln His Asn Ile Asn Glu Cys Glu Ala Glu Pro Cys 115 120 125

Arg Asn Gly Gly Ile Cys Thr Asp Leu Val Ala Asn Tyr Ser Cys Glu 130 135 140

Cys Pro Gly Glu Phe Met Gly Arg Asn Cys Gln Tyr Lys Cys Ser Gly 145 150 155 160

Pro Leu Gly Ile Glu Gly Gly Ile Ile Ser Asn Gln Gln Ile Thr Ala 165 170 175

Ser Ser Thr His Arg Ala Leu Phe Gly Leu Arg Lys Trp Tyr Pro Tyr 180 185 190

Tyr Ala Arg Leu Asn Lys Lys Gly Leu Ile Asn Ala Trp Thr Ala Ala 195 200 205

Glu Asn Asp Arg Trp Pro Trp Ile Gln Ile Asn Leu Gln Arg Lys Met 210 215 220

Arg Val Thr Gly Val Ile Thr Gln Gly Ala Lys Arg Ile Gly Ser Pro 225 230 235 240

Glu Tyr Ile Lys Ser Tyr Lys Ile Ala Tyr Ser Asn Asp Gly Lys Thr 245 250 255

Trp Ala Met Tyr Lys Val Lys Gly Thr Asn Glu Glu Met Val Phe Arg 260 265 270

Gly Asn Val Asp Asn Asn Thr Pro Tyr Ala Asn Ser Phe Thr Pro Pro 275 280 285

Ile Lys Ala Gln Tyr Val Arg Leu Tyr Pro Gln Ile Cys Arg Arg His 290 295 300

Cys Thr Leu Arg Met Glu Leu Leu Gly Cys Glu Leu Ser Gly Cys Ser 305 310 315 320

Glu Pro Leu Gly Met Lys Ser Gly His Ile Gln Asp Tyr Gln Ile Thr 325 330 335

Ala Ser Ser Val Phe Arg Thr Leu Asn Met Asp Met 340 345

<210> 7

<211> 1095

<212> DNA

<213> Mus musculus

<220>

<221> CDS

<222> .(1).. (1095)

<400	> 7	,														
			ttg Leu													48
			ttc Phe 20													96
			atc Ile													144
			gaa Glu													192
			gat Asp													240
			cat His													288
			ttc Phe 100													336
			tgt Cys													384
			gga Gly													432
tgc	cca	gga	gaa	ttt	atg	gga	cga	aat	tgt	caa	tat	ลลล	tgc	tet	ggg	480

Cys 145	Pro	Gly	Glu	Phe	Met 150	Gly	Arg	Asn	Cys	Gln 155	Tyr	Lys	Cys	Ser	Gly 160	
												caa Gln				528
												tgg Trp				576
												tgg Trp 205				624
												caa Gln				672
											Arg	att Ile				720
					Tyr					Ser		gac Asp			Thr	768
	_	_		Lys	_				Ası			atg Met		Phe		816
			Asp					Туг					Thr		cca Pro	864
		Ala					z Lei					e Cys			g cat g His	912
tgt	act	tta	aga	ate	g gaa	cti	ct	t ggo	c tg	t gag	g ct	c tca	ggo	tg:	tca	960

Cys Thr Leu Arg Met Glu Leu Leu Gly Cys Glu Leu Ser Gly Cys Ser 305 310 315 320

gaa cct ttg ggg atg aaa tca ggg cat ata caa gac tac cag atc act
Glu Pro Leu Gly Met Lys Ser Gly His Ile Gln Asp Tyr Gln Ile Thr
325 330 335

gcc tcc agc gtc ttc aga aca ctc aac atg gac atg ttt act tgg gaa 1056 Ala Ser Ser Val Phe Arg Thr Leu Asn Met Asp Met Phe Thr Trp Glu 340 345 350

cca agg aaa gcc agg ctg gac aag caa ggc aaa gta aat

Pro Arg Lys Ala Arg Leu Asp Lys Gln Gly Lys Val Asn
355 360 365

<210> 8

<211> 365

<212> PRT

<213> Mus musculus

<400> 8

Met Lys His Leu Val Ala Ala Trp Leu Leu Val Gly Leu Ser Leu Gly
1 5 10 15

Val Pro Gln Phe Gly Lys Gly Asp Ile Cys Asn Pro Asn Pro Cys Glu 20 25 30

Asn Gly Gly Ile Cys Leu Ser Gly Leu Ala Asp Asp Ser Phe Ser Cys 35 40 45

Glu Cys Pro Glu Gly Phe Ala Gly Pro Asn Cys Ser Ser Val Val Glu 50 55 60

Val Ala Ser Asp Glu Glu Lys Pro Thr Ser Ala Gly Pro Cys Ile Pro

65 .

70

75

80

Asn Pro Cys His Asn Gly Gly Thr Cys Glu Ile Ser Glu Ala Tyr Arg 85 90 95

Gly Asp Thr Phe Ile Gly Tyr Val Cys Lys Cys Pro Arg Gly Phe Asn 100 105 110

Gly Ile His Cys Gln His Asn Ile Asn Glu Cys Glu Ala Glu Pro Cys 115 120 125

Arg Asn Gly Gly Ile Cys Thr Asp Leu Val Ala Asn Tyr Ser Cys Glu 130 135 140

Cys Pro Gly Glu Phe Met Gly Arg Asn Cys Gln Tyr Lys Cys Ser Gly 145 150 155 160

Pro Leu Gly Ile Glu Gly Gly Ile Ile Ser Asn Gln Gln Ile Thr Ala 165 170 175

Ser Ser Thr His Arg Ala Leu Phe Gly Leu Arg Lys Trp Tyr Pro Tyr 180 185 190

Tyr Ala Arg Leu Asn Lys Lys Gly Leu Ile Asn Ala Trp Thr Ala Ala 195 200 205

Glu Asn Asp Arg Trp Pro Trp Ile Gln Ile Asn Leu Gln Arg Lys Met 210 215 220

Arg Val Thr Gly Val Ile Thr Gln Gly Ala Lys Arg Ile Gly Ser Pro

225 . 230 235 240

Glu Tyr Ile Lys Ser Tyr Lys Ile Ala Tyr Ser Asn Asp Gly Lys Thr 245 250 255

Trp Ala Met Tyr Lys Val Lys Gly Thr Asn Glu Glu Met Val Phe Arg 260 265 270

Gly Asn Val Asp Asn Asn Thr Pro Tyr Ala Asn Ser Phe Thr Pro Pro 275 280 285

Ile Lys Ala Gln Tyr Val Arg Leu Tyr Pro Gln Ile Cys Arg Arg His 290 295 300

Cys Thr Leu Arg Met Glu Leu Leu Gly Cys Glu Leu Ser Gly Cys Ser 305 310 315 320

Glu Pro Leu Gly Met Lys Ser Gly His Ile Gln Asp Tyr Gln Ile Thr 325 330 335

Ala Ser Ser Val Phe Arg Thr Leu Asn Met Asp Met Phe Thr Trp Glu 340 345 350

Pro Arg Lys Ala Arg Leu Asp Lys Gln Gly Lys Val Asn 355 360 365

<210> 9

<211> 1104

<212> DNA

<213> Mus musculus

<220> <221> CDS <222> (1).. (1104) <400> 9 48 atg aag cac ttg gta gca gcc tgg ctt ttg gtt gga ctc agc ctc ggg Met Lys His Leu Val Ala Ala Trp Leu Leu Val Gly Leu Ser Leu Gly 10 gtg ccc cag ttc ggc aaa ggt gac att tgc aac ccg aac ccc tgt gaa 96 Val Pro Gln Phe Gly Lys Gly Asp Ile Cys Asn Pro Asn Pro Cys Glu 20 25 30 aat ggt ggc atc tgt ctg tca gga ctg gct gat gat tcc ttt tcc tgt 144 Asn Gly Gly Ile Cys Leu Ser Gly Leu Ala Asp Asp Ser Phe Ser Cys 35 40 45 gag tgt cca gaa ggc ttc gca ggt ccg aac tgc tct agt gtt gtg gag 192 Glu Cys Pro Glu Gly Phe Ala Gly Pro Asn Cys Ser Ser Val Val Glu 50 55 60 240 gtt gca tca gat gaa gaa aag cct act tca gca ggt ccc tgc atc cct Val Ala Ser Asp Glu Glu Lys Pro Thr Ser Ala Gly Pro Cys Ile Pro 65 70 75 80 288 aac cca tgc cat aac gga gga acc tgt gag ata agc gaa gcc tat cga Asn Pro Cys His Asn Gly Gly Thr Cys Glu Ile Ser Glu Ala Tyr Arg 85 90 95 gga gac aca ttc ata ggc tat gtt tgt aaa tgt cct cgg gga ttt aat 336 Gly Asp Thr Phe Ile Gly Tyr Val Cys Lys Cys Pro Arg Gly Phe Asn 100 105 110 384 ggg att cac tgt cag cac aat ata aat gaa tgt gaa gct gag cct tgc Gly Ile His Cys Gln His Asn Ile Asn Glu Cys Glu Ala Glu Pro Cys 115 120 125 aga aat ggc gga ata tgt acc gac ctt gtt gct aac tac tct tgt gaa 432 Arg Asn Gly Gly Ile Cys Thr Asp Leu Val Ala Asn Tyr Ser Cys Glu

130 135 140

					gga Gly								480
					ggg Gly								528
_					ctt Leu								576
					aag Lys								624
					tgg Trp 215								672
					acc Thr								720
					aaa Lys							Thr	768
				Lys	aaa Lys		Asn				Phe	cgt Arg	816
			Asp			Tyr	_			Thr		cca Pro	864
	_	_							-			cat His	912

290 295 300

tgt act tta aga atg gaa ctt ctt ggc tgt gag ctc tca ggc tgt tca

Cys Thr Leu Arg Met Glu Leu Leu Gly Cys Glu Leu Ser Gly Cys Ser

305 310 315 320

gaa cct ttg ggg atg aaa tca ggg cat ata caa gac tac cag atc act
Glu Pro Leu Gly Met Lys Ser Gly His Ile Gln Asp Tyr Gln Ile Thr
325 330 335

gcc tcc agc gtc ttc aga aca ctc aac atg gac atg ttt act tgg gaa 1056 Ala Ser Ser Val Phe Arg Thr Leu Asn Met Asp Met Phe Thr Trp Glu 340 345 350

cca agg aaa gcc agg ctg gac aag caa ggc aaa gta aat gcc tgg act

Pro Arg Lys Ala Arg Leu Asp Lys Gln Gly Lys Val Asn Ala Trp Thr

355 360 365

<210> 10

<211> 368

<212> PRT

<213> Mus musculus

<400> 10

Met Lys His Leu Val Ala Ala Trp Leu Leu Val Gly Leu Ser Leu Gly
1 5 10 15

Val Pro Gln Phe Gly Lys Gly Asp Ile Cys Asn Pro Asn Pro Cys Glu 20 25 30

Asn Gly Gly Ile Cys Leu Ser Gly Leu Ala Asp Asp Ser Phe Ser Cys 35 40 45

Glu Cys Pro Glu Gly Phe Ala Gly Pro Asn Cys Ser Ser Val Val Glu 50 55 60

Val Ala Ser Asp Glu Glu Lys Pro Thr Ser Ala Gly Pro Cys Ile Pro 65 70 75 80

Asn Pro Cys His Asn Gly Gly Thr Cys Glu Ile Ser Glu Ala Tyr Arg 85 90 95

Gly Asp Thr Phe Ile Gly Tyr Val Cys Lys Cys Pro Arg Gly Phe Asn 100 105 110

Gly Ile His Cys Gln His Asn Ile Asn Glu Cys Glu Ala Glu Pro Cys 115 120 125

Arg Asn Gly Gly IIe Cys Thr Asp Leu Val Ala Asn Tyr Ser Cys Glu 130 135 140

Cys Pro Gly Glu Phe Met Gly Arg Asn Cys Gln Tyr Lys Cys Ser Gly 145 150 155 160

Pro Leu Gly Ile Glu Gly Gly Ile Ile Ser Asn Gln Gln Ile Thr Ala 165 170 175

Ser Ser Thr His Arg Ala Leu Phe Gly Leu Arg Lys Trp Tyr Pro Tyr 180 185 190

Tyr Ala Arg Leu Asn Lys Lys Gly Leu Ile Asn Ala Trp Thr Ala Ala 195 200 205

Glu Asn Asp Arg Trp Pro Trp Ile Gln Ile Asn Leu Gln Arg Lys Met 210 215 220

Arg Val Thr Gly Val Ile Thr Gln Gly Ala Lys Arg Ile Gly Ser Pro 225 230 235 240

Glu Tyr Ile Lys Ser Tyr Lys Ile Ala Tyr Ser Asn Asp Gly Lys Thr 245 250 255

Trp Ala Met Tyr Lys Val Lys Gly Thr Asn Glu Glu Met Val Phe Arg 260 265 270

Gly Asn Val Asp Asn Asn Thr Pro Tyr Ala Asn Ser Phe Thr Pro Pro 275 280 285

Ile Lys Ala Gln Tyr Val Arg Leu Tyr Pro Gln Ile Cys Arg Arg His 290 295 300

Cys Thr Leu Arg Met Glu Leu Leu Gly Cys Glu Leu Ser Gly Cys Ser 305 310 315 320

Glu Pro Leu Gly Met Lys Ser Gly His Ile Gln Asp Tyr Gln Ile Thr 325 330 335

Ala Ser Ser Val Phe Arg Thr Leu Asn Met Asp Met Phe Thr Trp Glu 340 345 350

Pro Arg Lys Ala Arg Leu Asp Lys Gln Gly Lys Val Asn Ala Trp Thr 355 360 365

<210> 11 <211> 1155

96

384

<212> .DNA

<213> Mus musculus

<220>

<221> CDS

<222> (1).. (1155)

<400> 11

atg aag cac ttg gta gca gcc tgg ctt ttg gtt gga ctc agc ctc ggg
Met Lys His Leu Val Ala Ala Trp Leu Leu Val Gly Leu Ser Leu Gly
1 5 10 15

gtg ccc cag ttc ggc aaa ggt gac att tgc aac ccg aac ccc tgt gaa Val Pro Gln Phe Gly Lys Gly Asp Ile Cys Asn Pro Asn Pro Cys Glu 20 25 30

aat ggt ggc atc tgt ctg tca gga ctg gct gat gat tcc ttt tcc tgt

Asn Gly Gly Ile Cys Leu Ser Gly Leu Ala Asp Asp Ser Phe Ser Cys

35

40

45

gag tgt cca gaa ggc ttc gca ggt ccg aac tgc tct agt gtt gtg gag
Glu Cys Pro Glu Gly Phe Ala Gly Pro Asn Cys Ser Ser Val Val Glu
50 55 60

gtt gca tca gat gaa gaa aag cct act tca gca ggt ccc tgc atc cct
Val Ala Ser Asp Glu Glu Lys Pro Thr Ser Ala Gly Pro Cys Ile Pro
65 70 75 80

aac cca tgc cat aac gga gga acc tgt gag ata agc gaa gcc tat cga
Asn Pro Cys His Asn Gly Gly Thr Cys Glu Ile Ser Glu Ala Tyr Arg
85 90 95

gga gac aca ttc ata ggc tat gtt tgt aaa tgt cct cgg gga ttt aat
Gly Asp Thr Phe Ile Gly Tyr Val Cys Lys Cys Pro Arg Gly Phe Asn
100 105 110

ggg att cac tgt cag cac aat ata aat gaa tgt gaa gct gag cct tgc Gly Ile His Cys Gln His Asn Ile Asn Glu Cys Glu Ala Glu Pro Cys 115 120 125

_					_					-		tac Tyr				432
												aaa Lys				480
												caa Gln				528
												tgg Trp				576
		-	Leu					Leu			_	tgg Trp 205				624
		Asp					Ile					caa Gln				672
	. Val					Thr					Arg				cca Pro 240	720
					Tyr					Ser					acc Thr	768
				Lys	-				: Ast	-				Phe	cgt Arg	816
		-	l Ası					o Tyi					Thr		c cca Pro	864

atc aaa gct cag tat gta aga ctc tac ccc caa att tgt cga agg cat Ile Lys Ala Gln Tyr Val Arg Leu Tyr Pro Gln Ile Cys Arg Arg His 290 295 300	912
tgt act tta aga atg gaa ctt ctt ggc tgt gag ctc tca ggc tgt tca Cys Thr Leu Arg Met Glu Leu Leu Gly Cys Glu Leu Ser Gly Cys Ser 305 310 315 320	
gaa cct ttg ggg atg aaa tca ggg cat ata caa gac tac cag atc act Glu Pro Leu Gly Met Lys Ser Gly His Ile Gln Asp Tyr Gln Ile Thr 325 330 335	
gcc tcc agc gtc ttc aga aca ctc aac atg gac atg ttt act tgg gaa Ala Ser Ser Val Phe Arg Thr Leu Asn Met Asp Met Phe Thr Trp Glu 340 345 350	
cca agg aaa gcc agg ctg gac aag caa ggc aaa gta aat gcc tgg act Pro Arg Lys Ala Arg Leu Asp Lys Gln Gly Lys Val Asn Ala Trp Thr 355 360 365	
tcc ggc cat aac gac cag tca caa tgg tta cag gtt gat ctt ctt gtc Ser Gly His Asn Asp Gln Ser Gln Trp Leu Gln Val Asp Leu Leu Va 370 375 380	
cct Pro 385	1155
<210> 12 <211> 385 <212> PRT <213> Mus musculus	
(400) 12 Met Lys His Leu Val Ala Ala Trp Leu Leu Val Gly Leu Ser Leu Gl 1 5 10 15	ly

Val Pro Gln Phe Gly Lys Gly Asp Ile Cys Asn Pro Asn Pro Cys Glu Asn Gly Gly Ile Cys Leu Ser Gly Leu Ala Asp Asp Ser Phe Ser Cys Glu Cys Pro Glu Gly Phe Ala Gly Pro Asn Cys Ser Ser Val Val Glu Val Ala Ser Asp Glu Glu Lys Pro Thr Ser Ala Gly Pro Cys Ile Pro Asn Pro Cys His Asn Gly Gly Thr Cys Glu Ile Ser Glu Ala Tyr Arg Gly Asp Thr Phe Ile Gly Tyr Val Cys Lys Cys Pro Arg Gly Phe Asn Gly Ile His Cys Gln His Asn Ile Asn Glu Cys Glu Ala Glu Pro Cys Arg Asn Gly Gly Ile Cys Thr Asp Leu Val Ala Asn Tyr Ser Cys Glu

Pro Leu Gly Ile Glu Gly Gly Ile Ile Ser Asn Gln Gln Ile Thr Ala

Cys Pro Gly Glu Phe Met Gly Arg Asn Cys Gln Tyr Lys Cys Ser Gly

Ser Ser Thr His Arg Ala Leu Phe Gly Leu Arg Lys Trp Tyr Pro Tyr 180 185 190

Tyr Ala Arg Leu Asn Lys Lys Gly Leu Ile Asn Ala Trp Thr Ala Ala 195 200 205

Glu Asn Asp Arg Trp Pro Trp Ile Gln Ile Asn Leu Gln Arg Lys Met 210 215 220

Arg Val Thr Gly Val Ile Thr Gln Gly Ala Lys Arg Ile Gly Ser Pro 225 230 235 240

Glu Tyr Ile Lys Ser Tyr Lys Ile Ala Tyr Ser Asn Asp Gly Lys Thr 245 250 255

Trp Ala Met Tyr Lys Val Lys Gly Thr Asn Glu Glu Met Val Phe Arg 260 265 270

Gly Asn Val Asp Asn Asn Thr Pro Tyr Ala Asn Ser Phe Thr Pro Pro 275 280 285

Ile Lys Ala Gln Tyr Val Arg Leu Tyr Pro Gln Ile Cys Arg Arg His 290 295 300

Cys Thr Leu Arg Met Glu Leu Leu Gly Cys Glu Leu Ser Gly Cys Ser 305 310 315 320

Glu Pro Leu Gly Met Lys Ser Gly His Ile Gln Asp Tyr Gln Ile Thr 325 330 335

Ala Ser Ser Val Phe Arg Thr Leu Asn Met Asp Met Phe Thr Trp Glu 340 345 350

Pro Arg Lys Ala Arg Leu Asp Lys Gln Gly Lys Val Asn Ala Trp Thr 355 360 365

Ser Gly His Asn Asp Gln Ser Gln Trp Leu Gln Val Asp Leu Leu Val 370 375 380

Pro 385

<210> 13 <211> 789 <212> DNA

<213> Mus musculus

<220>

<221> CDS

<222> (1).. (789)

<400> 13

ata aat ttg caa aga aaa atg aga gtc act ggt gtt att acc caa gga
Ile Asn Leu Gln Arg Lys Met Arg Val Thr Gly Val Ile Thr Gln Gly
1 5 10 15

48

96

gca aaa agg att gga agc cca gag tac ata aaa tcc tac aaa att gcc Ala Lys Arg Ile Gly Ser Pro Glu Tyr Ile Lys Ser Tyr Lys Ile Ala 20 · 25 30

tac agc aat gac ggg aag acc tgg gca atg tac aaa gta aaa ggc acc

Tyr Ser Asn Asp Gly Lys Thr Trp Ala Met Tyr Lys Val Lys Gly Thr

35 40 45

							_			cca Pro		192
										ctc Leu		240
	_			 						ctt Leu 95		288
										ggg Gly		336
										ctc Leu		384
										aag Lys		432
 _										caa Gln		480
			Leu							att Ile 175	Thr	528
		Asp			-	Gln				tac Tyr		576
	Ser				His				Gln		gaa Glu	624

,	V U 20	105/00	1093												FC 1/31 20	04/0020
	cag Gln 210								-							672
	agg Arg															720
	ctt Leu															768
	ggc															789
<21 <21 <21 <21	1> 2>	14 263 PRT Mus	musc	ulus			,									
<40	<0>	14														
Ile 1	e Asn	Leu	Gln	Arg 5	Lys	Met	Arg	Val	Thr 10	Gly	Val	Ile	Thr	Gln 15	Gly	
Ala	ı Lys	Arg	11e 20	Gly	Ser	Pro	Glu	Tyr 25	Ile	Lys	Ser	Tyr	Lys 30	Ile	Ala	
Туі	Ser	Asn 35	Asp	Gly	Lys	Thr	Trp 40	Ala	Met	Tyr	Lys	Val 45	Lys	Gly	Thr	
Ası	1 Glu 50	Glu	Met	Val	Phe	Arg 55	Gly	Asn	Val	Asp	Asn 60	Asn	Thr	Pro	Tyr	

PCT/JP2004/009616

WO 2005/001093

Ala 65	Asn	Ser	Phe	Thr	Pro 70	Pro	Ile	Lys	Ala	Gln 75	Tyr	Val	Arg	Leu	Tyr 80

Pro Gln Ile Cys Arg Arg His Cys Thr Leu Arg Met Glu Leu Leu Gly 85 90 95

Cys Glu Leu Ser Gly Cys Ser Glu Pro Leu Gly Met Lys Ser Gly His 100 105 110

Ile Gln Asp Tyr Gln Ile Thr Ala Ser Ser Val Phe Arg Thr Leu Asn 115 120 125

Met Asp Met Phe Thr Trp Glu Pro Arg Lys Ala Arg Leu Asp Lys Gln 130 135 140

Gly Lys Val Asn Ala Trp Thr Ser Gly His Asn Asp Gln Ser Gln Trp 145 150 155 160

Leu Gln Val Asp Leu Leu Val Pro Thr Lys Val Thr Gly Ile Ile Thr 165 170 175

Gln Gly Ala Lys Asp Phe Gly His Val Gln Phe Val Gly Ser Tyr Lys 180 185 190

Leu Ala Tyr Ser Asn Asp Gly Glu His Trp Met Val His Gln Asp Glu
195 200 205

Lys Gln Arg Lys Asp Lys Val Phe Gln Gly Asn Phe Asp Asn Asp Thr 210 215 220

His Arg Lys Asn Val Ile Asp Pro Pro Ile Tyr Ala Arg Phe Ile Arg 225 230 235 240

Ile Leu Pro Trp Ser Trp Tyr Gly Arg Ile Thr Leu Arg Ser Glu Leu 245 250 255

Leu Gly Cys Ala Glu Glu Glu 260

<210> 15

<211> 306

<212> DNA

<213> Mus musculus

<220>

<221> CDS

<222> (1)... (306)

<400> 15

ata aat ttg caa aga aaa atg aga gtc act ggt gtt att acc caa gga

Ile Asn Leu Gln Arg Lys Met Arg Val Thr Gly Val Ile Thr Gln Gly

1 5 10 15

gca aaa agg att gga agc cca gag tac ata aaa tcc tac aaa att gcc
Ala Lys Arg Ile Gly Ser Pro Glu Tyr Ile Lys Ser Tyr Lys Ile Ala
20 25 30

tac agc aat gac ggg aag acc tgg gca atg tac aaa gta aaa ggc acc

Tyr Ser Asn Asp Gly Lys Thr Trp Ala Met Tyr Lys Val Lys Gly Thr

35 40 45

aat gaa gag atg gtc ttt cgt gga aat gtt gat aac aac aca cca tat
Asn Glu Glu Met Val Phe Arg Gly Asn Val Asp Asn Asn Thr Pro Tyr
50 55 60

gct aat tct ttc aca ccc cca atc aaa gct cag tat gta aga ctc tac 240

Ala Asn Ser Phe Thr Pro Pro Ile Lys Ala Gln Tyr Val Arg Leu Tyr 65 70 75 80

ccc caa att tgt cga agg cat tgt act tta aga atg gaa ctt ctt ggc
Pro Gln Ile Cys Arg Arg His Cys Thr Leu Arg Met Glu Leu Leu Gly
85 90 95

tgt gag ctc tca ggc tgt

Cys Glu Leu Ser Gly Cys

100

<210> 16

<211> 102

<212> PRT

<213> Mus musculus

<400> 16

Ile Asn Leu Gln Arg Lys Met Arg Val Thr Gly Val Ile Thr Gln Gly
1 5 10 15

Ala Lys Arg Ile Gly Ser Pro Glu Tyr Ile Lys Ser Tyr Lys Ile Ala 20 25 30

Tyr Ser Asn Asp Gly Lys Thr Trp Ala Met Tyr Lys Val Lys Gly Thr 35 40 45

Asn Glu Glu Met Val Phe Arg Gly Asn Val Asp Asn Asn Thr Pro Tyr 50 55 60

Ala Asn Ser Phe Thr Pro Pro Ile Lys Ala Gln Tyr Val Arg Leu Tyr 65 70 75 80

Pro Gln Ile Cys Arg Arg His Cys Thr Leu Arg Met Glu Leu Leu Gly

85

90

95

Cys Glu Leu Ser Gly Cys 100

<210> 17 <211> 678 <212> DNA

<213> Mus musculus

<220>

<221> CDS

<222> (1).. (678)

<400> 17

tgt gaa gct gag cct tgc aga aat ggc gga ata tgt acc gac ctt gtt

Cys Glu Ala Glu Pro Cys Arg Asn Gly Gly Ile Cys Thr Asp Leu Val

1 10 15

gct aac tac tct tgt gaa tgc cca gga gaa ttt atg gga cga aat tgt
Ala Asn Tyr Ser Cys Glu Cys Pro Gly Glu Phe Met Gly Arg Asn Cys
20 25 30

caa tat aaa tgc tct ggg cca ttg gga atc gaa ggt ggg atc ata tct
Gln Tyr Lys Cys Ser Gly Pro Leu Gly Ile Glu Gly Gly Ile Ile Ser
35 40 45

aat cag caa atc aca gct tca tct act cac cga gct ctt ttt gga ctc
Asn Gln Gln Ile Thr Ala Ser Ser Thr His Arg Ala Leu Phe Gly Leu
50 55 60

cgg aag tgg tat ccc tac tat gct cga ctt aat aag aag ggc ctt ata
Arg Lys Trp Tyr Pro Tyr Tyr Ala Arg Leu Asn Lys Lys Gly Leu Ile
65 70 75 80

aat gcc tgg aca gct gct gaa aat gac aga tgg cca tgg att cag ata
Asn Ala Trp Thr Ala Ala Glu Asn Asp Arg Trp Pro Trp Ile Gln Ile

. 85 90 95

aat ttg caa aga aaa atg aga gtc act ggt gtt att acc caa gga gca
Asn Leu Gln Arg Lys Met Arg Val Thr Gly Val Ile Thr Gln Gly Ala
100 105 110

aaa agg att gga agc cca gag tac ata aaa tcc tac aaa att gcc tac
Lys Arg Ile Gly Ser Pro Glu Tyr Ile Lys Ser Tyr Lys Ile Ala Tyr
115 120 125

agc aat gac ggg aag acc tgg gca atg tac aaa gta aaa ggc acc aat
Ser Asn Asp Gly Lys Thr Trp Ala Met Tyr Lys Val Lys Gly Thr Asn
130 135 140

gaa gag atg gtc ttt cgt gga aat gtt gat aac aac aca cca tat gct
Glu Glu Met Val Phe Arg Gly Asn Val Asp Asn Asn Thr Pro Tyr Ala
145 150 155 160

aat tot tto aca ccc cca atc aaa gct cag tat gta aga ctc tac ccc
Asn Ser Phe Thr Pro Pro IIe Lys Ala Gln Tyr Val Arg Leu Tyr Pro
165 170 175

caa att tgt cga agg cat tgt act tta aga atg gaa ctt ctt ggc tgt

Gln Ile Cys Arg Arg His Cys Thr Leu Arg Met Glu Leu Leu Gly Cys

180 185 190

gag ctc tca ggc tgt tca gaa cct ttg ggg atg aaa tca ggg cat ata
Glu Leu Ser Gly Cys Ser Glu Pro Leu Gly Met Lys Ser Gly His Ile
195 200 205

caa gac tac cag atc act gcc tcc agc gtc ttc aga aca ctc aac atg

Gln Asp Tyr Gln Ile Thr Ala Ser Ser Val Phe Arg Thr Leu Asn Met

210 215 220

gac atg
Asp Met

225

<210> 18

<211> . 226

<212> PRT

<213> Mus musculus

<400> 18

Cys Glu Ala Glu Pro Cys Arg Asn Gly Gly Ile Cys Thr Asp Leu Val 1 5 10 15

Ala Asn Tyr Ser Cys Glu Cys Pro Gly Glu Phe Met Gly Arg Asn Cys 20 25 30

Gln Tyr Lys Cys Ser Gly Pro Leu Gly Ile Glu Gly Gly Ile Ile Ser 35 40 45

Asn Gln Gln Ile Thr Ala Ser Ser Thr His Arg Ala Leu Phe Gly Leu 50 55 60

Arg Lys Trp Tyr Pro Tyr Tyr Ala Arg Leu Asn Lys Lys Gly Leu Ile 65 70 75 80

Asn Ala Trp Thr Ala Ala Glu Asn Asp Arg Trp Pro Trp Ile Gln Ile 85 90 95

Asn Leu Gln Arg Lys Met Arg Val Thr Gly Val Ile Thr Gln Gly Ala 100 105 110

Lys Arg Ile Gly Ser Pro Glu Tyr Ile Lys Ser Tyr Lys Ile Ala Tyr 115 120 125

Ser Asn Asp Gly Lys Thr Trp Ala Met Tyr Lys Val Lys Gly Thr Asn 130 135 140

Glu Glu Met Val Phe Arg Gly Asn Val Asp Asn Asn Thr Pro Tyr Ala 145 150 155 160

Asn Ser Phe Thr Pro Pro IIe Lys Ala Gln Tyr Val Arg Leu Tyr Pro 165 170 . 175

Gln Ile Cys Arg Arg His Cys Thr Leu Arg Met Glu Leu Leu Gly Cys 180 185 190

Glu Leu Ser Gly Cys Ser Glu Pro Leu Gly Met Lys Ser Gly His Ile 195 200 205

Gln Asp Tyr Gln IIe Thr Ala Ser Ser Val Phe Arg Thr Leu Asn Met 210 215 220

Asp Met 225

<210> 19

<211> 285

<212> DNA

<213> Mus musculus

<220>

<221> CDS

<222> (1).. (285)

<400> 19

tgt gaa gct gag cct tgc aga aat ggc gga ata tgt acc gac ctt gtt Cys Glu Ala Glu Pro Cys Arg Asn Gly Gly Ile Cys Thr Asp Leu Val 1 5 10 15 48

								gga Gly 25								96
								gga Gly							_	144
	_							act Thr								192
								cga Arg								240
	_							gac Asp								285
<21 <21 <21 <21 <21 <40	1> 2> 3>	20 95 PRT Mus	musc	ulus	1											
			Glu	Pro 5	Cys	s Arg	g Asr	ı Gly	Gly 10	' Ile	e Cys	s Thi	: Asr	Leu 15	ı Val	
Ala	Asn	і Туі	Ser 20	· Cys	s Gli	ı Cys	s Pro	o G13 25	Glı	ı Phe	e Met	t Gly	y Arg 30	g Ası	ı Cys	
Gln	туі	Lys 35	s Cys	s Se	r Gly	y Pro	Lei 40	u G1	y Ile	e Glı	u Gly	y G1: 45	y Il	e Il	e Ser	

Asn Gln Gln Ile Thr Ala Ser Ser Thr His Arg Ala Leu Phe Gly Leu 50 55 60

Arg Lys Trp Tyr Pro Tyr Tyr Ala Arg Leu Asn Lys Lys Gly Leu Ile 65 70 75 80

Asn Ala Trp Thr Ala Ala Glu Asn Asp Arg Trp Pro Trp Ile Gln 85 90 95

<210> 21

<211> 396

<212> DNA

<213> Mus musculus

<220>

<221> CDS

<222> (1).. (396)

<400> 21

ttt act tgg gaa cca agg aaa gcc agg ctg gac aag caa ggc aaa gta Phe Thr Trp Glu Pro Arg Lys Ala Arg Leu Asp Lys Gln Gly Lys Val 1 5 10 15

aat gcc tgg act tcc ggc cat aac gac cag tca caa tgg tta cag gtt
Asn Ala Trp Thr Ser Gly His Asn Asp Gln Ser Gln Trp Leu Gln Val
20 25 30

48

gat ctt ctt gtc cct act aag gtg aca ggc atc att aca caa gga gct

Asp Leu Leu Val Pro Thr Lys Val Thr Gly Ile Ile Thr Gln Gly Ala

35

40

45

aaa gat ttt ggt cac gtg cag ttt gtt ggg tca tac aaa cta gct tac

Lys Asp Phe Gly His Val Gln Phe Val Gly Ser Tyr Lys Leu Ala Tyr

50 55 60

					cac His 70												240
	-		-		caa Gln				_		_					٠.	288
	-		_		ccc Pro			_	_			_					336
					agg Arg												384
		gag Glu															396
<210 <211 <211 <211 <40	1> 2> 3>	22 132 PRT Mus 1	musc	ulus													
Phe 1	Thr	Trp	Glu	Pro 5	Arg	Lys	Ala	Arg	Leu 10	Asp	Lys	Gln	Gly	Lys 15	Val		
Asn	Ala	Trp	Thr 20	Ser	Gly	His	Asn	Asp 25	Gln	Ser	Gln	Trp	Leu 30	Gln	Val		
Asp	Leu	Leu 35	Val	Pro	Thr	Lys	Val	Thr	Gly	Ile	Ile	Thr	Gln	Gly	Ala		

Lys Asp Phe Gly His Val Gln Phe Val Gly Ser Tyr Lys Leu Ala Tyr 50 55 60

Ser Asn Asp Gly Glu His Trp Met Val His Gln Asp Glu Lys Gln Arg 65 70 75 80

Lys Asp Lys Val Phe Gln Gly Asn Phe Asp Asn Asp Thr His Arg Lys 85 90 95

Asn Val Ile Asp Pro Pro Ile Tyr Ala Arg Phe Ile Arg Ile Leu Pro 100 105 110

Trp Ser Trp Tyr Gly Arg Ile Thr Leu Arg Ser Glu Leu Leu Gly Cys 115 120 125

Ala Glu Glu Glu 130

<210> 23

<211> 678

<212> DNA

<213> Homo sapiens

<220>

<221> 'CDS

<222> (1)... (678)

<400> 23

tgc gaa gtt gag cct tgc aaa aat ggt gga ata tgt aca gat ctt gtt

Cys Glu Val Glu Pro Cys Lys Asn Gly Gly Ile Cys Thr Asp Leu Val

1 5 10 15

gct aac tat tcc tgt gag tgc cca ggc gaa ttt atg gga aga aat tgt 96

ii aig gga aga aai igi

Ala	Asn	Tyr	Ser 20	Cys	Glu :	Cys :	Pro	Gly 25	Glu	Phe	Met	Gly	Arg 30	Asn	Cys	
	tac Tyr					Pro										144
	cag Gln 50															192
	aaa Lys															240
	gcg n Ala															288
	t ttg n Leu			Lys					Gly					Gly	gcc	336
			e Gly					Ile					s Ile		tac Tyr	384
_		ı Ası		-			Ala					l Ly:			c aat r Asn	432
	u Asj					Gly					n Ası				t gct r Ala 160	480
		•			o Pro					n Ty					t ccc r Pro 5	528
ca	ıa gt	t tg	t cg	a ag	a ca	t tgo	c ac	t tt	g cg	a at	g ga	a ct	t ct	t gg	c tgt	576

Gln Val Cys Arg Arg His Cys Thr Leu Arg Met Glu Leu Leu Gly Cys 180 185 190

gaa ctg tcg ggt tgt tct gag cct ctg ggt atg aaa tca gga cat ata
Glu Leu Ser Gly Cys Ser Glu Pro Leu Gly Met Lys Ser Gly His Ile
195 200 205

caa gac tat cag atc act gcc tcc agc atc ttc aga acg ctc aac atg

Gln Asp Tyr Gln Ile Thr Ala Ser Ser Ile Phe Arg Thr Leu Asn Met

210 215 220

gac atg
Asp Met
225

<210> 24

<211> 226

<212> PRT

<213> Homo sapiens

<400> 24

Cys Glu Val Glu Pro Cys Lys Asn Gly Gly Ile Cys Thr Asp Leu Val 1 5 10 15

Ala Asn Tyr Ser Cys Glu Cys Pro Gly Glu Phe Met Gly Arg Asn Cys 20 25 30

Gln Tyr Lys Cys Ser Gly Pro Leu Gly Ile Glu Gly Gly Ile Ile Ser 35 40 45

Asn Gln Gln Ile Thr Ala Ser Ser Thr His Arg Ala Leu Phe Gly Leu 50 55 60

Gln Lys Trp Tyr Pro Tyr Tyr Ala Arg Leu Asn Lys Lys Gly Leu Ile

70

75

80

Asn Ala Trp Thr Ala Ala Glu Asn Asp Arg Trp Pro Trp Ile Gln Ile 85 90 95

Asn Leu Gln Arg Lys Met Arg Val Thr Gly Val Ile Thr Gln Gly Ala 100 105 110

Lys Arg Ile Gly Ser Pro Glu Tyr Ile Lys Ser Tyr Lys Ile Ala Tyr 115 120 125

Ser Asn Asp Gly Lys Thr Trp Ala Met Tyr Lys Val Lys Gly Thr Asn 130 135 140

Glu Asp Met Val Phe Arg Gly Asn Ile Asp Asn Asn Thr Pro Tyr Ala 145 150 155 160

Asn Ser Phe Thr Pro Pro Ile Lys Ala Gln Tyr Val Arg Leu Tyr Pro 165 170 175

Gln Val Cys Arg Arg His Cys Thr Leu Arg Met Glu Leu Leu Gly Cys 180 185 190

Glu Leu Ser Gly Cys Ser Glu Pro Leu Gly Met Lys Ser Gly His Ile 195 200 205

Gln Asp Tyr Gln Ile Thr Ala Ser Ser Ile Phe Arg Thr Leu Asn Met 210 215 220

Asp Met

225

<210> 25

<211> 26

<212> DNA

<213> Artificial sequence

<220>

<223> synthetic DNA

<400> 25

aaagatctaa cccgaacccc tgtgaa

26

<210> 26

<211> 24

<212> DNA

<213> Artificial sequence

<220>

<223> synthetic DNA

<400> 26

aactcgagca tttgtggatg tgcg

24

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

	<u> </u>		PCT/JP2	004/009616			
A. CLASSIFIC Int.Cl ⁷	ATION OF SUBJECT MATTER C12N15/12, C07K14/47, C12N5/1 C07K19/00, C12P21/02	0, C12N1/15,	C12N1/19,	C12N1/21,			
According to Into	ernational Patent Classification (IPC) or to both national	classification and IP	С				
B. FIELDS SE	ARCHED						
Minimum docum Int.Cl ⁷	nentation searched (classification system followed by classification classification system followed by classification classification system followed by classification system fo		, C12N1/19,	C12N1/21,			
	searched other than minimum documentation to the exten						
JSTPlus	pase consulted during the international search (name of design (JOIS), SwissProt/PIR/GeneSeq, (WPI(DIALOG)	ata base and, where p Genbank/EME	oracticable, search te BL/DDBJ/Gene	ems used)			
C. DOCUMEN	NTS CONSIDERED TO BE RELEVANT						
Category*	Citation of document, with indication, where app		ant passages	Relevant to claim No.			
x	JP 11-507527 A (Progenitor, 1 06 July, 1999 (06.07.99), Fig. 6 & WO 96/40769 A1 & US	(nc.), 5874562 A		1-27			
х	WO 02/36826 A2 (Gene Logic, 1 10 May, 2002 (10.05.02), Seq. Nos. 1 to 2 (Family: none)	Inc.),		1-27			
Further de	ocuments are listed in the continuation of Box C.	See patent fa	mily annex.				
"A" document of to be of particle apply filing date "L" document of cited to est operated rease "O" document of document of document of document of document of document of the cited to est operated rease."	egories of cited documents: defining the general state of the art which is not considered ticular relevance lication or patent but published on or after the international which may throw doubts on priority claim(s) or which is tablish the publication date of another citation or other son (as specified) referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means published prior to the international filing date but later than of date claimed	"X" document of pa considered no step when the do "Y" document of pa considered no considered to combined with being obvious to	claimed invention cannot be idered to involve an inventive to claimed invention cannot be estep when the document is h documents, such combination he art				
Date of the actu	nal completion of the international search cust, 2004 (16.08.04)		Date of mailing of the international search report 31 August, 2004 (31.08.04)				
Japane	ing address of the ISA/ ese Patent Office	Authorized officer					
Facsimile No. Form PCT/ISA/2	210 (second sheet) (January 2004)	Telephone No.	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2004/009616

Box	No. I		Nucleotide and/or amino acid sequence(s) (Continuation of item1.b of the first sheet)
			to any nucleotide and/or amino acid sequence disclosed in the international application and necessary to the claimed the international search was carried out on the basis of:
a	a. t	ype o	of material
	[X	a sequence listing
		二	table(s) related to the sequence listing
1	b. <i>1</i>	forma	at of material
•	. [in written format
	[X	in computer readable form
	c. t	ime (of filing/furnishing
	[contained in the international application as filed
	{	×	filed together with the international application in computer readable form
•	(furnished subsequently to this Authority for the purposes of search
2. [×I :	In ad	dition, in the case that more than one version or copy of a sequence listing and/or table relating thereto has been filed
		or fu	rnished, the required statements that the information in the subsequent or additional copies is identical to that in the ication as filed or does not go beyond the application as filed, as appropriate, were furnished.
3.	Addit	ional	comments:
"	. 10010		·
			·
1			
1			
·			
'			
			·

国際調査報告

A. 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC))

Int. Cl. 7 C12N15/12, C07K14/47, C12N5/10, C12N1/15, C12N1/19, C12N1/21, C07K19/00, C12P21/02

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int. Cl. 7 Cl2N15/12, C07K14/47, Cl2N5/10, Cl2N1/15, Cl2N1/19, Cl2N1/21, C07K19/00, Cl2P21/02

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)

JSTPlus (JOIS) SwissProt/PIR/GeneSeq Genbank/EMBL/DDBJ/GeneSeq BIOSIS/WPI (DIALOG)

C.	関連する	ン認め	St.	猫サス
\sim .	田田 9 る		*) A U	〜 人 m人

O. D.E.		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	JP 11-507527 A (プロジェニター, インコーポレーテッド) 1999.07.06, Fig.6 & WO 96/40769 A1 & US 5874562 A	1-27
x	WO 02/36826 A2 (Gene Logic, Inc.) 2002.05.10, seq.1-2 ファミリーなし	1-27

□ C欄の続きにも文献が列挙されている。

□ パテントファミリーに関する別紙を参照。

- * 引用文献のカテゴリー
- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す もの
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献(理由を付す)
- 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

- の日の後に公表された文献
- 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

16.08.2004

国際調査報告の発送日

31. 8. 2004

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官(権限のある職員) 鈴木 恵理子 4N 3126

電話番号 03-3581-1101 内線 3448

第I欄 ヌクレオチド又	スはアミノ酸配列(第1ページの1. b の続き)
1. この国際出願で開示 以下に基づき国際課	おされかつ請求の範囲に係る発明に必要なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 調査を行った。
a. タイプ .	X 配列表
	□ 配列表に関連するテープル
	□ 書面 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
b. フォーマット	X コンピュータ読み取り可能な形式
	A C C C C P DUCKS OF HEIGHDA
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる
	[X] この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された
	□ 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された
 2. X さらに、配列家	長又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出
した配列が出頭 出があった。	預時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提
3. 補足意見:	
,	
1	